



政府統計

報道関係者 各位

平成25年6月5日

【照会先】

大臣官房統計情報部人口動態・保健社会統計課

課長 小野 暁史 (内線 7461)

課長補佐 村上 修司 (内線 7475)

月報調整係 (内線 7476)

(代表電話) 03-5253-1111

(直通電話) 03-3595-2813

平成24年 人口動態統計月報年計(概数)の概況について

平成24年1～12月の人口動態統計月報(概数)を、今般とりまとめましたので公表します。

【結果のポイント】

- ・出生数は、103万7千人 (対前年1万4千人減少)
- ・合計特殊出生率は、1.41 (対前年0.02ポイント上昇)
- ・死亡数は、125万6千人 (対前年3千人増加)
- ・自然増減数は、△21万9千人 (対前年1万7千人減少)
- ・婚姻件数は、66万9千組 (対前年7千組増加)
- ・離婚件数は、23万5千組 (対前年3百組減少)

※詳細は、別添概況をご参照ください。

1 調査の目的

我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の対象及び客体

「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況では平成24年に日本において発生した日本人の事象を客体とした。

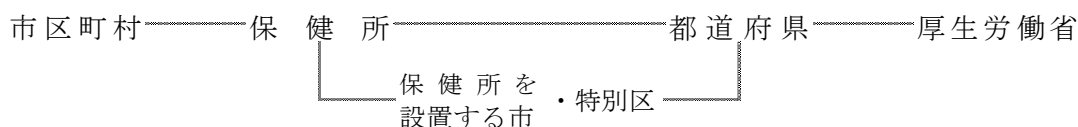
3 調査の期間

平成24年1月1日～平成24年12月31日

4 調査の方法

市区町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。

5 報告の系統



【照会先】

大臣官房統計情報部人口動態・保健社会統計課
課長 小野 暁史 (内線 7461)
課長補佐 村上 修司 (内線 7475)
月報調整係 (内線 7476)
(代表電話) 03-5253-1111
(直通電話) 03-3595-2813

平成24年 人口動態統計月報年計(概数)の概況

目次

	頁
調査の概要	1
結果の概要	
1 結果の要約	2
2 出生	
(1) 出生数	4
(2) 合計特殊出生率	6
3 死亡	
(1) 死亡数・死亡率	8
(2) 死因	10
4 婚姻	14
5 離婚	16
統計表	
第1表 人口動態総覧の年次推移	20
第2表 人口動態総覧(率)の年次推移	24
第3表 出生数の年次推移, 母の年齢(5歳階級)別	28
第4表 出生数の年次推移, 出生順位別	28
第5表 死亡率(人口10万対)の年次推移, 性・年齢(5歳階級)別	29
第6表 死亡数・死亡率(人口10万対), 死因简单分類別	32
第7表 死因順位(1~5位)別死亡数・死亡率(人口10万対), 性・年齢(5歳階級)別	36
第8表 人口動態総覧, 都道府県(21大都市再掲)別	42
第9表 人口動態総覧(率), 都道府県(21大都市再掲)別	44
第10表 主な死因の死亡数・死亡率(人口10万対), 都道府県(21大都市再掲)別	46
参 考	
合計特殊出生率について	48
人口動態総覧(率)の国際比較	52
分母に用いた人口	52
この資料は、厚生労働省のホームページに掲載しています。	
(掲載場所 URL)	http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai12/index.html

調査の概要

- 1 調査の目的 我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。
- 2 調査の対象及び客体 「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況では平成 24 年に日本において発生した日本人の事象を客体とした。
- 3 調査の期間 平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日
- 4 調査の方法 市区町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。
- 5 報告の系統

市区町村	-----	保健所	-----	都道府県	-----	厚生労働省
		└───┬───┘				
		保健所を 設置する市	・	特別区		
- 6 結果の集計 集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

＜利用上の注意＞

- 1 印刷公表している人口動態統計の資料は次のとおりである。

人口動態統計速報	人口動態統計月報	人口動態統計年報
数値：調査票を作成した数	数値：概数	数値：確定数（概数に修正を加えたもの）
集計客体：日本における日本人及び 外国人並びに外国における 日本人 (いずれも前年以前発生のもの を含む)	集計客体：日本における日本人 (前年以前発生ものを除く)	集計客体：日本における日本人 (日本における外国人、 外国における日本人及び 前年以前発生ものは別掲)
公表：毎月（調査月の約 2 か月後）	公表：毎月（調査月の約 5 か月後） ※ ：毎年（年間合計） （調査年の翌年 6 月）	公表：毎年（調査年の翌年 9 月）

※本概況は中央の破線の部分である。

- 2 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のありえない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適切な場合	…
比率が微小 (0.05, 0.00005 未満) の場合	0.0, 0.0000
減少数 (率) の場合	△

なお、掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

- 3 用語の説明

- 自然増減：出生数から死亡数を減じたもの
- 乳児死亡：生後 1 年未満の死亡
- 新生児死亡：生後 4 週未満の死亡
- 早期新生児死亡：生後 1 週未満の死亡
- 死産：妊娠満 12 週以後の死児の出産
- 周産期死亡：妊娠満 22 週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの
- 合計特殊出生率：その年次の 15 歳～49 歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1 人の女性が仮にその（期間合計特殊出生率）の年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。（実際に 1 人の女性が一生の間に生む子ども数はコーホート合計特殊出生率である。）

- 4 この概況で使用した数値は、平成 23 年以前は確定数である。
- 5 昭和 47 年以前は沖縄県を含まない数値である。昭和 19～21 年は資料不備のため省略した。
- 6 都道府県別の表章は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

結果の概要

1 結果の要約

(1) 出生数は減少

出生数は103万7101人で、前年の105万806人より1万3705人減少し、出生率（人口千対）は8.2で、前年の8.3を下回った。

出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、15～34歳の各階級及び50歳以上では前年より減少しているが、14歳以下及び35～49歳の各階級では前年より増加した。

また、出生順位別にみると、すべての順位で前年より減少した。

(2) 死亡数は増加

死亡数は125万6254人で、前年の125万3066人より3188人増加し、死亡率（人口千対）は10.0で、前年の9.9を上回った。

死因別にみると、死因順位の第1位は悪性新生物、第2位は心疾患、第3位は肺炎となっている。全死亡者に占める割合はそれぞれ、28.7%、15.8%、9.9%であり、死亡者のおよそ3.5人に1人は悪性新生物で死亡したことになる。

(3) 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△21万9153人で、前年の△20万2260人より1万6893人減少し、自然増減率（人口千対）は△1.7で、前年の△1.6を下回り、6年連続でマイナスとなった。

出生数が死亡数を下回った県は43都道府県であり、出生数が死亡数を上回った県は、神奈川県、愛知県、滋賀県、沖縄県の4県となっている。

(4) 死産数は減少

死産数は2万4804胎で、前年の2万5751胎より947胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は23.4で、前年の23.9を下回った。死産率のうち、自然死産率は10.8で、前年の11.1を下回り、人工死産率は12.6で、前年の12.8を下回った。

(5) 婚姻件数は増加

婚姻件数は66万8788組で、前年の66万1895組より6893組増加し、婚姻率（人口千対）は5.3で前年の5.2を上回った。

平均初婚年齢は夫30.8歳、妻29.2歳で、夫は前年より0.1歳、妻は前年より0.2歳上昇している。

(6) 離婚件数は減少

離婚件数は23万5394組で、前年の23万5719組より325組減少し、離婚率（人口千対）は1.87で、前年と同率であった。

表1 人口動態総覧

	実 数			率		平均発生間隔	
	平成24年 概数	平成23年 確定数	対前年増減	平成24年 概数値	平成23年 確定値	平成24年 概数値	平成23年 確定値
出 生	1 037 101	1 050 806	△ 13 705	8.2	8.3	分 秒	分 秒
死 亡	1 256 254	1 253 066	3 188	10.0	9.9	25"	25"
乳児死亡	2 298	2 463	△ 165	2.2	2.3	229' 21"	213' 24"
新生児死亡	1 064	1 147	△ 83	1.0	1.1	495' 20"	458' 14"
自然増減	△ 219 153	△ 202 260	△ 16 893	△ 1.7	△ 1.6	…	…
死 産	24 804	25 751	△ 947	23.4	23.9	21' 15"	20' 25"
自然死産	11 444	11 940	△ 496	10.8	11.1	46' 3"	44' 1"
人工死産	13 360	13 811	△ 451	12.6	12.8	39' 27"	38' 3"
周産期死亡	4 134	4 315	△ 181	4.0	4.1	127' 29"	121' 48"
妊娠満22週 以後の死産	3 345	3 491	△ 146	3.2	3.3	157' 34"	150' 34"
早期新生児 死 亡	789	824	△ 35	0.8	0.8	667' 59"	637' 52"
婚 姻	668 788	661 895	6 893	5.3	5.2	47"	48"
離 婚	235 394	235 719	△ 325	1.87	1.87	2' 14"	2' 14"

	平成24年 概数値	平成23年 確定値
合計特殊出生率	1.41	1.39

注：出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は人口千対。乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対。
死産率は出産（出生＋死産）千対。周産期死亡率及び妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。

2 出生

(1) 出生数

平成 24 年の出生数は 103 万 7101 人で、前年の 105 万 806 人より 1 万 3705 人減少した。

第 1 次ベビーブーム期（昭和 22～24 年）に生まれた女性が出産したことにより、昭和 46～49 年には第 2 次ベビーブームとなり、1 年間に 200 万人を超える出生数であった。昭和 50 年以降は毎年減少し続け、平成 4 年以降は増加と減少を繰り返しながら、ゆるやかな減少傾向であったが、平成 13 年からは 5 年連続で減少した。平成 18 年は 6 年ぶりに増加したが、平成 19 年以降、減少、増加を繰り返し、平成 24 年は平成 23 年に引き続き減少した。（図 1）

出生率（人口千対）は、8.2 で前年の 8.3 を下回った。

出生数を母の年齢（5 歳階級）別にみると、15～34 歳の各階級及び 50 歳以上では前年より減少しているが、14 歳以下及び 35～49 歳の各階級では前年より増加した（表 2-1）。

出生順位別にみると、いずれの出生順位についても平成 13 年から 5 年連続で減少したが、平成 18 年には 6 年ぶりに増加した。平成 19 年及び平成 20 年は、第 1 子、第 2 子は減少し、第 3 子以上は増加、平成 21 年はすべてで減少、平成 22 年は第 1 子が減少、第 2 子、第 3 子以上は増加、平成 23 年は第 1 子、第 2 子は減少、第 3 子以上は増加、平成 24 年はすべてで減少した。（表 2-2）

第 1 子出生時の母の平均年齢は上昇傾向にあり、平成 24 年は 30.3 歳である（表 3）。

図 1 出生数及び合計特殊出生率の年次推移

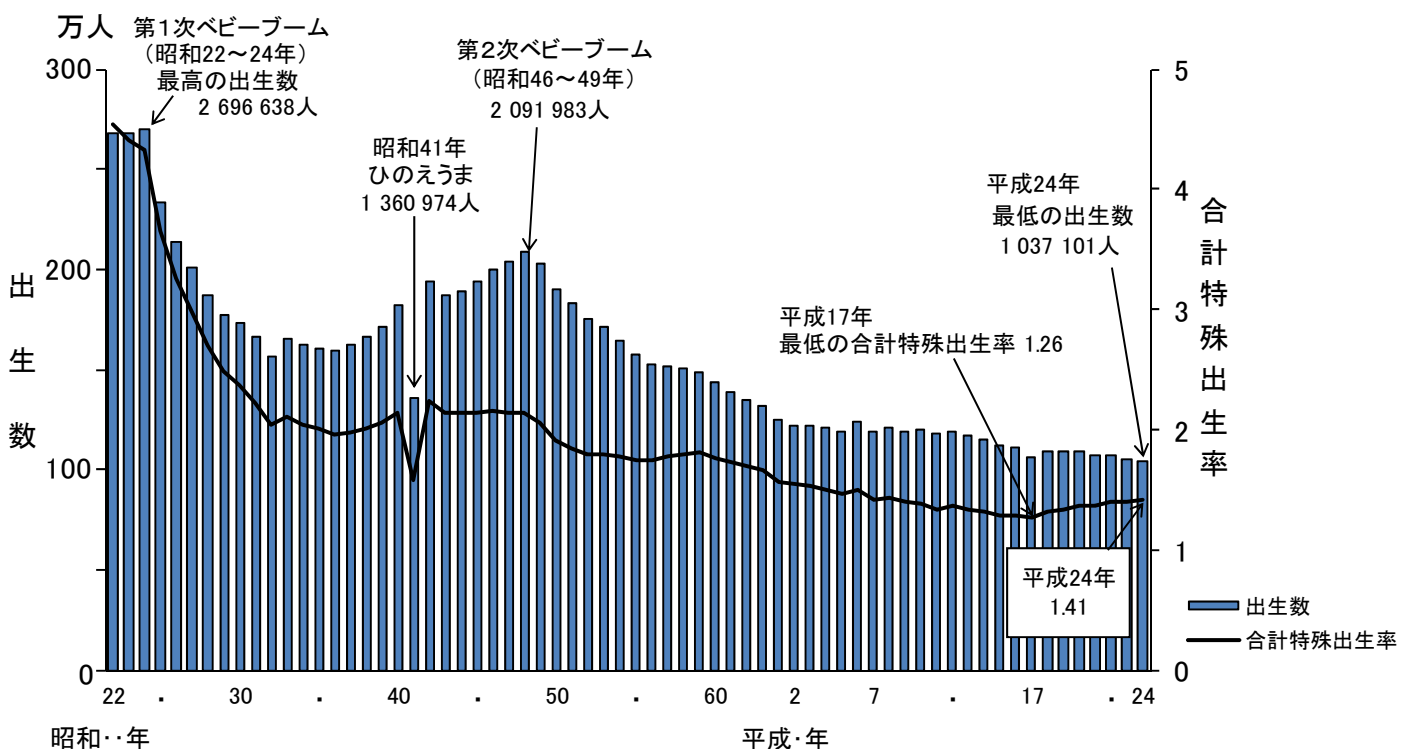


表 2-1 母の年齢（5歳階級）別にみた出生数の年次推移

母の年齢	出生数				対前年増減		
	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	22年-21年	23年-22年	24年-23年
総数	1 070 035	1 071 304	1 050 806	1 037 101	1 269	△ 20 498	△ 13 705
～14歳	67	51	44	59	△ 16	△ 7	15
15～19	14 620	13 495	13 274	12 711	△ 1 125	△ 221	△ 563
20～24	116 808	110 956	104 059	95 803	△ 5 852	△ 6 897	△ 8 256
25～29	307 765	306 910	300 384	292 440	△ 855	△ 6 526	△ 7 944
30～34	389 793	384 385	373 490	367 651	△ 5 408	△ 10 895	△ 5 839
35～39	209 706	220 101	221 272	225 443	10 395	1 171	4 171
40～44	30 566	34 609	37 437	42 028	4 043	2 828	4 591
45～49	684	773	802	928	89	29	126
50歳以上	20	19	41	32	△ 1	22	△ 9

注：総数には母の年齢不詳を含む。

表 2-2 出生順位別にみた出生数の年次推移

出生順位	出生数				対前年増減		
	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	22年-21年	23年-22年	24年-23年
総数	1 070 035	1 071 304	1 050 806	1 037 101	1 269	△ 20 498	△ 13 705
第1子	512 742	509 736	494 712	484 657	△ 3 006	△ 15 024	△ 10 055
第2子	390 073	390 212	383 666	382 403	139	△ 6 546	△ 1 263
第3子以上	167 220	171 356	172 428	170 041	4 136	1 072	△ 2 387

表 3 第1子出生時の母の平均年齢の年次推移

	昭和50年	60	平成7年	17	21	22	23	24
平均年齢 (歳)	25.7	26.7	27.5	29.1	29.7	29.9	30.1	30.3

(2) 合計特殊出生率

平成24年の合計特殊出生率は1.41で、前年の1.39を上回った。

昭和40年代は、第2次ベビーブーム期（昭和46～49年）を含めほぼ2.1台で推移し、昭和50年に2.00を下回ってからは低下傾向が続いた。平成18年に6年ぶりに上昇してからは3年連続上昇、平成21年は前年と同率であったが、平成22年は上昇し、平成23年は前年と同率、平成24年は0.02ポイント上昇した。（統計表第2表、図2）

年齢（5歳階級）別にみると、15～29歳の各階級では低下し、30～49歳の各階級では上昇した。最も合計特殊出生率が高いのは、30～34歳となっている。（表4-1、図2）

出生順位別にみると、第1子は低下したが、第2子、第3子以上が上昇した（表4-2）。

都道府県別にみると、沖縄県（1.90）、島根県（1.68）、宮崎県（1.67）、鹿児島県（1.64）、長崎県（1.63）等が高く、東京都（1.09）、京都府（1.23）、北海道（1.26）等大都市を含む地域が低くなっている（表5、図3）。

表4-1 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）

年 齢	合 計 特 殊 出 生 率							対前年増減		
	昭和60年	平成7年	17	21	22	23	24	22年-21年	23年-22年	24年-23年
総 数	1.76	1.42	1.26	1.37	1.39	1.39	1.41	0.02	0.00	0.02
15～19 歳	0.0229	0.0185	0.0253	0.0249	0.0232	0.0227	0.0219	△ 0.0017	△ 0.0005	△ 0.0008
20～24	0.3173	0.2022	0.1823	0.1779	0.1781	0.1710	0.1607	0.0002	△ 0.0071	△ 0.0103
25～29	0.8897	0.5880	0.4228	0.4320	0.4356	0.4349	0.4326	0.0036	△ 0.0007	△ 0.0023
30～34	0.4397	0.4677	0.4285	0.4756	0.4789	0.4837	0.4915	0.0033	0.0048	0.0078
35～39	0.0846	0.1311	0.1761	0.2217	0.2318	0.2390	0.2525	0.0101	0.0072	0.0135
40～44	0.0094	0.0148	0.0242	0.0354	0.0387	0.0408	0.0448	0.0033	0.0021	0.0040
45～49	0.0003	0.0004	0.0008	0.0009	0.0010	0.0011	0.0012	0.0001	0.0001	0.0001

注：年齢階級別の数値は各歳別出生率を合計したものであり、15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

表4-2 出生順位別にみた合計特殊出生率の年次推移

出生順位	合 計 特 殊 出 生 率							対前年増減		
	昭和60年	平成7年	17	21	22	23	24	22年-21年	23年-22年	24年-23年
総 数	1.76	1.42	1.26	1.37	1.39	1.39	1.41	0.02	0.00	0.02
第 1 子	0.7611	0.6607	0.6240	0.6782	0.6835	0.6787	0.6780	0.0053	△ 0.0048	△ 0.0007
第 2 子	0.6950	0.5209	0.4643	0.4889	0.4956	0.4996	0.5095	0.0067	0.0040	0.0099
第 3 子以上	0.3078	0.2410	0.1717	0.2013	0.2082	0.2150	0.2176	0.0069	0.0068	0.0026

図2 合計特殊出生率の年次推移（年齢階級別内訳）

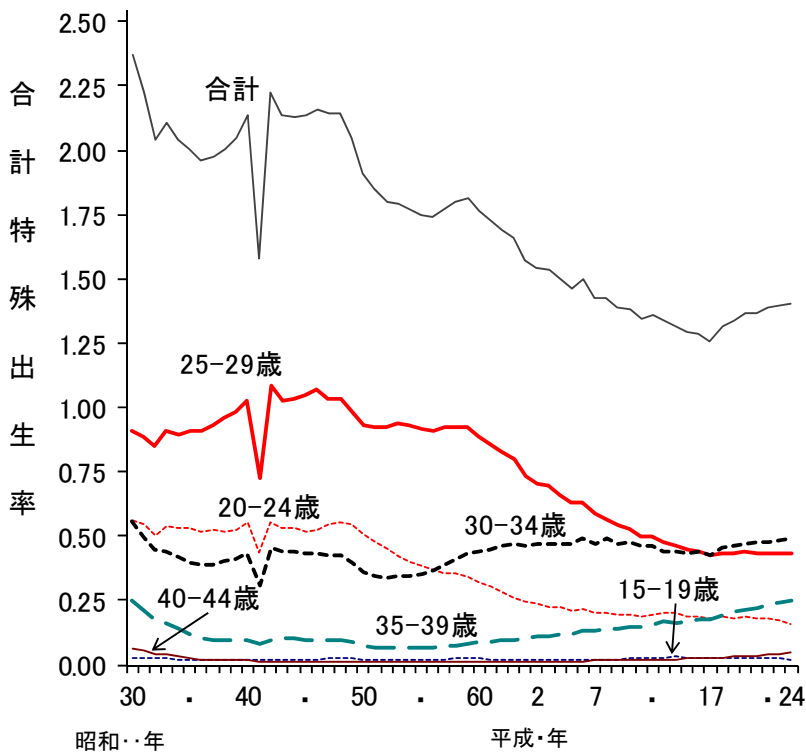


図3 都道府県別合計特殊出生率（平成24年）

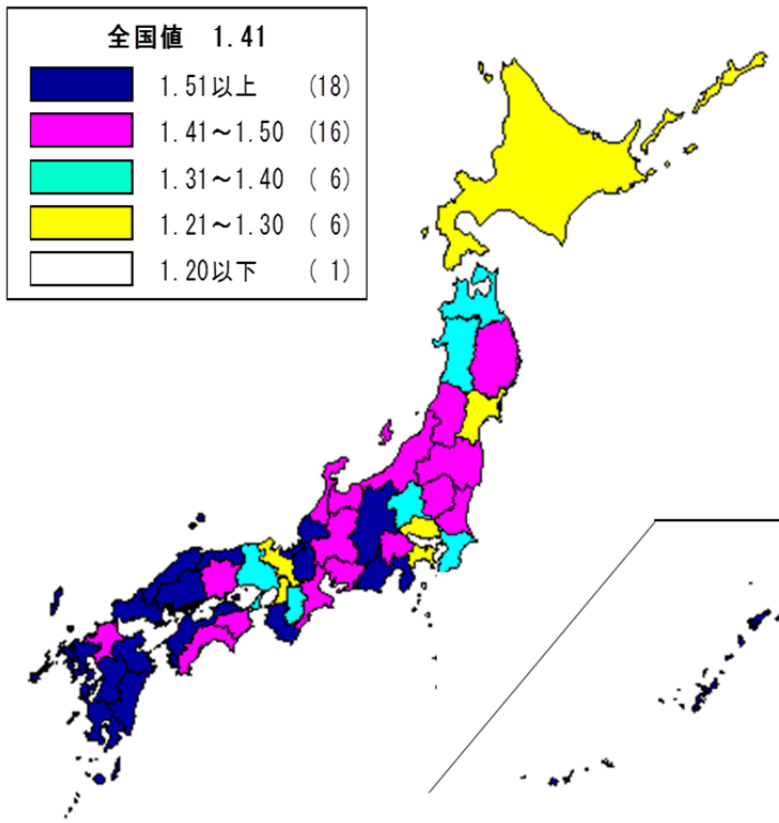


表5 都道府県別にみた合計特殊出生率

都道府県	平成24年	平成23年
全 国	1.41	1.39
北 海 道	1.26	1.25
青 森 県	1.36	1.38
岩 手 県	1.44	1.41
宮 城 県	1.30	1.25
秋 田 県	1.37	1.35
山 形 県	1.44	1.46
福 島 県	1.41	1.48
茨 城 県	1.41	1.39
栃 木 県	1.43	1.38
群 馬 県	1.39	1.41
埼 玉 県	1.29	1.28
千 葉 県	1.31	1.31
東 京 都	1.09	1.06
神 奈 川 県	1.30	1.27
新 潟 県	1.43	1.41
富 山 県	1.42	1.37
石 川 県	1.47	1.43
福 井 県	1.60	1.56
山 梨 県	1.43	1.41
長 野 県	1.51	1.50
岐 阜 県	1.45	1.44
静 岡 県	1.52	1.49
愛 知 県	1.46	1.46
三 重 県	1.47	1.47
滋 賀 県	1.53	1.51
京 都 府	1.23	1.25
大 阪 府	1.30	1.30
兵 庫 県	1.40	1.40
奈 良 県	1.32	1.27
和 歌 山 県	1.53	1.49
鳥 取 県	1.57	1.58
島 根 県	1.68	1.61
岡 山 県	1.47	1.48
広 島 県	1.54	1.53
山 口 県	1.52	1.52
徳 島 県	1.44	1.43
香 川 県	1.56	1.56
愛 媛 県	1.52	1.51
高 知 県	1.43	1.39
福 岡 県	1.43	1.42
佐 賀 県	1.61	1.61
長 崎 県	1.63	1.60
熊 本 県	1.62	1.62
大 分 県	1.53	1.55
宮 崎 県	1.67	1.68
鹿 児 島 県	1.64	1.64
沖 縄 県	1.90	1.86

注：分母に用いた人口は、全国は各歳別日本人人口、都道府県は5歳階級別総人口。

3 死亡

(1) 死亡数・死亡率

平成 24 年の死亡数は 125 万 6254 人で、前年の 125 万 3066 人より 3188 人増加し、死亡率（人口千対）は 10.0 で、前年の 9.9 を上回った。

昭和 30 年以降は 70 万人前後で推移していたが、昭和 50 年代後半から増加傾向となり、平成 2 年以降は 80 万人台、平成 7 年以降にはほぼ 90 万人台となり、平成 15 年からは 100 万人をこえ、平成 19 年からは 110 万人台となり、平成 24 年は昨年引き続き 120 万人台となっている。

昭和 50 年代後半から 75 歳以上の高齢者の死亡が増加しており、平成 20 年からは死亡数の約 3 分の 2 を占めている。（図 4）

年齢（5 歳階級）別に死亡率（人口 10 万対）をみると、95～99 歳の年齢階級で前年より上昇しているが、それ以外の各年齢階級では前年より低下している（表 6－1）。

死亡率性比（男の死亡率／女の死亡率×100）を年齢（5 歳階級）別にみると、全年齢階級で 100 以上となっており、男の死亡率が高いことを示している。また、20～29 歳と 55～84 歳の各年齢階級では、男の死亡率が女の死亡率の 2 倍以上となっている。（表 6－2）

図 4 死亡数及び死亡率の年次推移

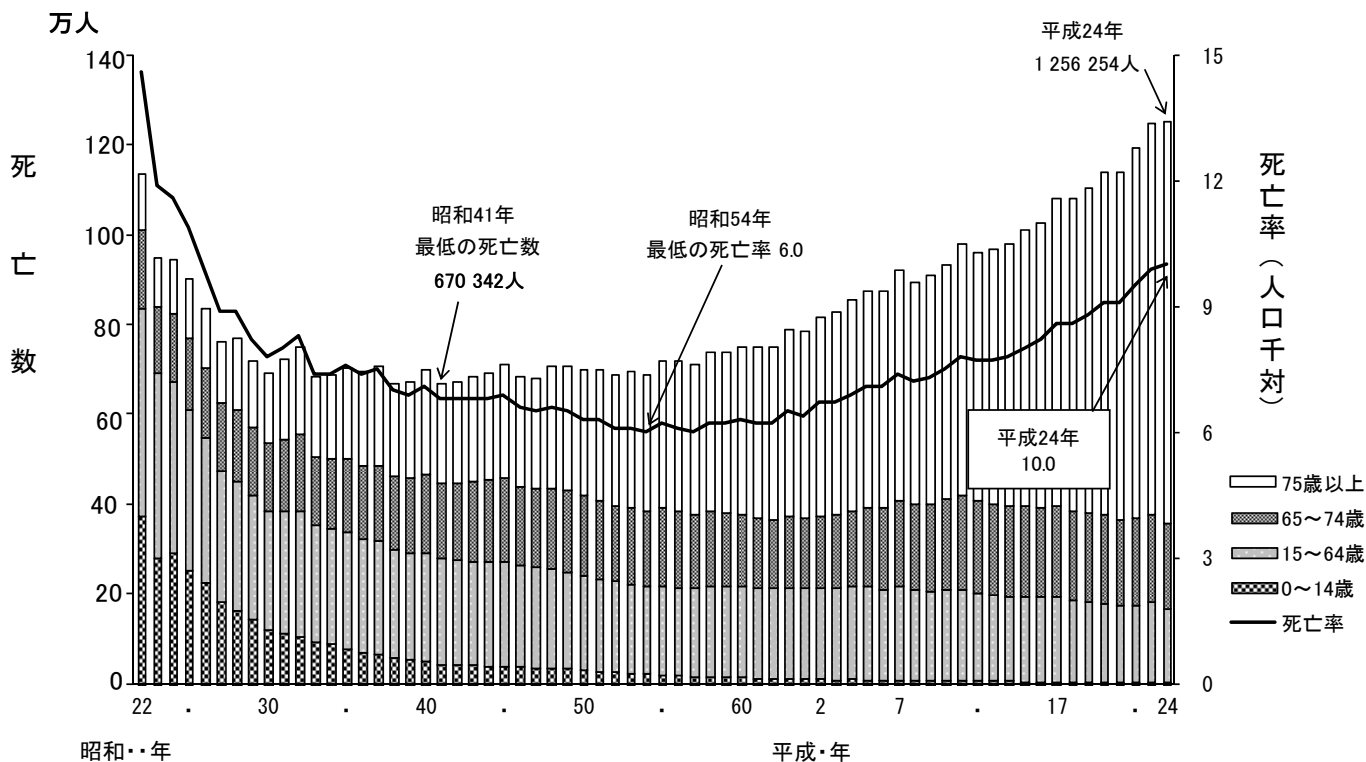


表6-1 年齢（5歳階級）別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）

年齢階級	死 亡 数			死 亡 率		
	平成24年	平成23年	対前年増減	平成24年	平成23年	対前年増減
総数	1 256 254	1 253 066	3 188	997.4	993.1	4.3
0～4歳	3 174	3 622	△ 448	60.8	68.9	△ 8.1
5～9	498	749	△ 251	9.3	13.8	△ 4.5
10～14	509	728	△ 219	8.7	12.4	△ 3.7
15～19	1 368	1 740	△ 372	22.9	29.0	△ 6.1
20～24	2 474	2 964	△ 490	40.7	48.0	△ 7.3
25～29	3 203	3 683	△ 480	46.8	52.6	△ 5.8
30～34	4 065	4 916	△ 851	53.2	62.3	△ 9.1
35～39	6 800	7 964	△ 1 164	73.4	83.4	△ 10.0
40～44	10 344	11 190	△ 846	111.0	122.2	△ 11.2
45～49	13 832	14 979	△ 1 147	171.1	191.1	△ 20.0
50～54	20 763	22 437	△ 1 674	273.7	297.3	△ 23.6
55～59	33 207	37 455	△ 4 248	421.3	454.2	△ 32.9
60～64	67 486	72 120	△ 4 634	662.4	682.1	△ 19.7
65～69	80 139	82 062	△ 1 923	982.0	1 049.5	△ 67.5
70～74	111 502	113 113	△ 1 611	1 514.1	1 581.8	△ 67.7
75～79	164 330	167 707	△ 3 377	2 637.3	2 739.4	△ 102.1
80～84	221 526	220 110	1 416	4 797.0	4 912.1	△ 115.1
85～89	234 905	222 793	12 112	8 471.2	8 513.3	△ 42.1
90～94	170 888	162 024	8 864	14 950.8	15 016.1	△ 65.3
95～99	83 676	79 763	3 913	25 356.4	25 241.5	114.9
100歳以上	20 984	19 571	1 413	41 145.1	41 640.4	△ 495.3

注：総数には年齢不詳を含む。

表6-2 性・年齢（5歳階級）別にみた死亡数・死亡率
（人口10万対）・死亡率性比（平成24年）

年齢階級	死 亡 数		死 亡 率		死亡率性比
	男	女	男	女	
総数	655 468	600 786	1 068.8	929.6	115.0
0～4歳	1 680	1 494	62.8	58.6	107.2
5～9	293	205	10.7	7.8	137.2
10～14	303	206	10.2	7.3	139.7
15～19	920	448	30.0	15.4	194.8
20～24	1 778	696	57.0	23.5	242.6
25～29	2 180	1 023	62.4	30.5	204.6
30～34	2 647	1 418	68.1	37.8	180.2
35～39	4 404	2 396	93.5	52.6	177.8
40～44	6 664	3 680	141.0	80.2	175.8
45～49	9 014	4 818	221.1	120.3	183.8
50～54	13 623	7 140	358.3	188.6	190.0
55～59	22 610	10 597	577.2	267.2	216.0
60～64	47 258	20 228	945.7	389.7	242.7
65～69	55 522	24 617	1 418.5	579.6	244.7
70～74	74 487	37 015	2 174.2	939.9	231.3
75～79	103 523	60 807	3 792.1	1 736.8	218.3
80～84	125 454	96 072	6 885.5	3 436.1	200.4
85～89	106 527	128 378	11 849.5	6 854.1	172.9
90～94	53 522	117 366	20 197.0	13 367.4	151.1
95～99	19 406	64 270	32 343.3	23 803.7	135.9
100歳以上	3 195	17 789	45 642.9	40 429.5	112.9

注：1）総数には年齢不詳を含む。

2）死亡率性比＝男の死亡率／女の死亡率×100

(2) 死因

① 死因順位

平成 24 年の死亡数・死亡率（人口 10 万対）を死因順位別にみると、第 1 位は悪性新生物で 36 万 790 人、286.4、第 2 位は心疾患 19 万 8622 人、157.7、第 3 位は肺炎 12 万 3818 人、98.3、第 4 位は脳血管疾患で、12 万 1505 人、96.5 となっている（表 7）。

主な死因の年次推移をみると、悪性新生物は、一貫して上昇を続け、昭和 56 年以降死因順位第 1 位となり、平成 24 年の全死亡者に占める割合は 28.7%となっている。全死亡者のおよそ 3.5 人に 1 人は悪性新生物で死亡したことになる。

心疾患は、昭和 60 年に脳血管疾患にかわり第 2 位となり、その後も死亡数・死亡率ともに上昇傾向であったが、平成 21 年に減少した。平成 22 年から再び上昇し、平成 24 年の全死亡者に占める割合は 15.8%となっている。

肺炎は昭和 50 年に不慮の事故にかわって第 4 位となり、上昇と低下を繰り返しながら上昇傾向を示してきたが、平成 23 年には脳血管疾患にかわり第 3 位となり、平成 24 年の全死亡者に占める割合は 9.9%となっている。

脳血管疾患は、昭和 26 年に結核にかわって第 1 位となったが、昭和 45 年をピークに低下しはじめ、昭和 56 年には悪性新生物にかわり第 2 位となった。昭和 60 年には心疾患にかわって第 3 位となり、その後も死亡数・死亡率ともに低下傾向であったが、平成 23 年には肺炎にかわり第 4 位となり、平成 24 年の全死亡者に占める割合は 9.7%となっている。（図 5、図 6）

図 5 主な死因別死亡数の割合（平成 24 年）

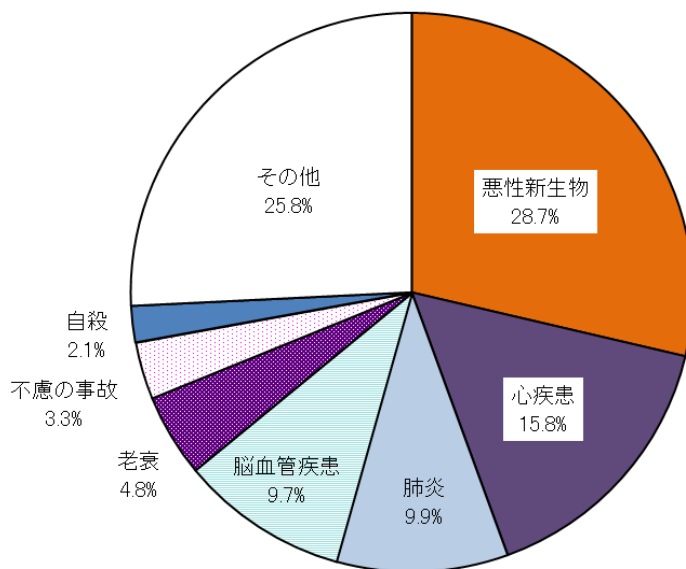


表7 性別にみた死因順位別死亡数・死亡率（人口10万対）

死 因	平成24年						平成23年	
	総 数		男		女		総 数	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
全 死 因	1 256 254	997.4	655 468	1068.8	600 786	929.6	1 253 066	993.1
悪 性 新 生 物	(1) 360 790	286.4	(1) 215 011	350.6	(1) 145 779	225.6	(1) 357 305	283.2
心 疾 患	(2) 198 622	157.7	(2) 92 860	151.4	(2) 105 762	163.6	(2) 194 926	154.5
肺 炎	(3) 123 818	98.3	(3) 66 329	108.2	(4) 57 489	89.0	(3) 124 749	98.9
脳 血 管 疾 患	(4) 121 505	96.5	(4) 58 570	95.5	(3) 62 935	97.4	(4) 123 867	98.2
老 衰	(5) 60 669	48.2	(7) 14 714	24.0	(5) 45 955	71.1	(6) 52 242	41.4
不慮の事故	(6) 40 857	32.4	(5) 23 625	38.5	(6) 17 232	26.7	(5) 59 416	47.1
自 殺	(7) 26 400	21.0	(6) 18 469	30.1	(8) 7 931	12.3	(7) 28 896	22.9
腎 不 全	(8) 25 061	19.9	(9) 11 801	19.2	(7) 13 260	20.5	(8) 24 526	19.4
慢性閉塞性肺疾患	(9) 16 371	13.0	(8) 12 849	21.0	(19) 3 522	5.4	(9) 16 639	13.2
肝 疾 患	(10) 15 944	12.7	(10) 10 414	17.0	(13) 5 530	8.6	(10) 16 390	13.0

注：1）（ ）内の数字は死因順位を示す。

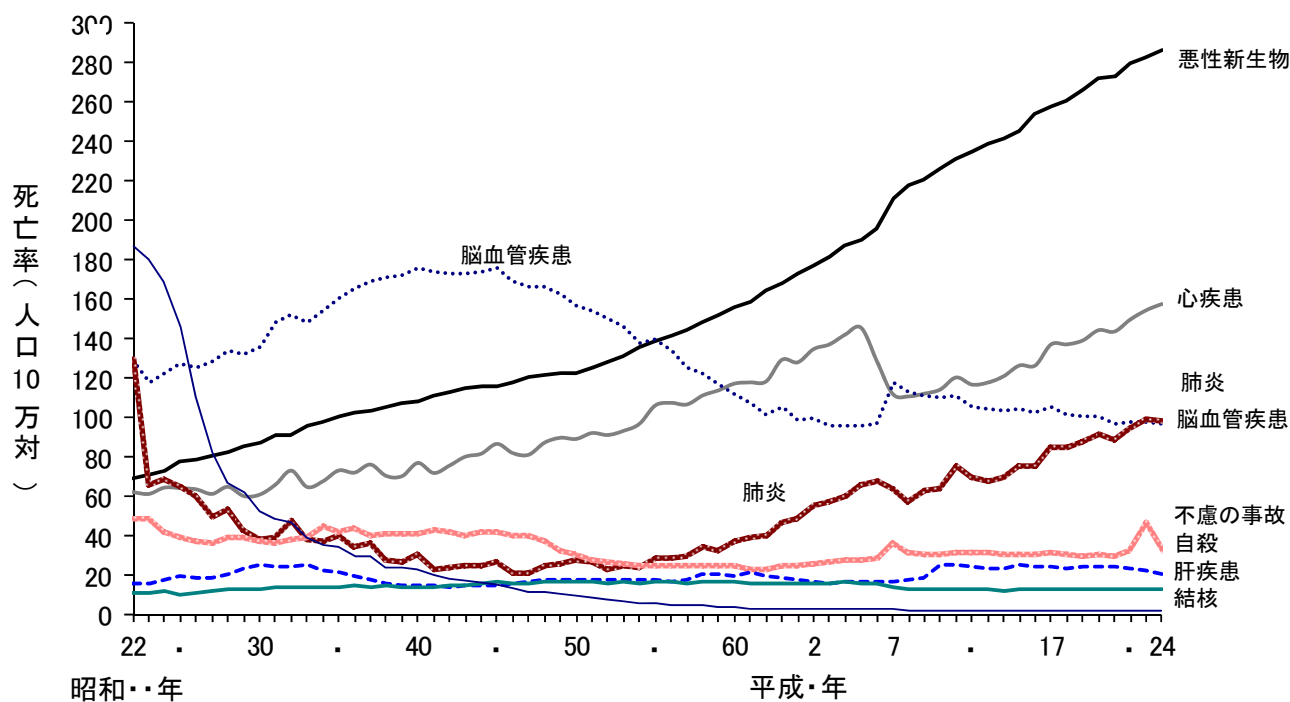
2）女の9位は「大動脈瘤及び解離」で死亡数は7 503、死亡率は11.6である。

3）女の10位は「糖尿病」で死亡数は6 836、死亡率は10.6である。

4）「結核」は死亡数が2 105、死亡率は1.7で第26位となっている。

5）「熱中症」は死亡数が720、死亡率は0.6である。

図6 主な死因別にみた死亡率の年次推移



注：1）平成6・7年の心疾患の低下は、死亡診断書（死体検案書）（平成7年1月施行）において「死亡の原因欄には、疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください」という注意書きの施行前からの周知の影響によるものと考えられる。

2）平成7年の脳血管疾患の上昇の主な要因は、ICD-10（平成7年1月適用）による原死因選択ルールの特長によるものと考えられる。

② 年齢別死因

平成 24 年の死因を性・年齢（5 歳階級）別に構成割合で見ると、5～14 歳では不慮の事故及び悪性新生物が、15～29 歳では自殺及び不慮の事故が多く、30～49 歳では悪性新生物及び自殺が多く、年齢が高くなるにしたがって、悪性新生物の占める割合が多くなり、男では 65～69 歳で、女では 55～59 歳でピークとなる。それ以降は、男女とも心疾患、脳血管疾患、肺炎の占める割合が、年齢が高くなるとともに多くなっている。男では 90 歳代で肺炎が最も多く、女では 85～99 歳で心疾患、100 歳以上では男女ともに老衰が最も多くなっている。（図 7-1）

また、1 歳未満の乳児死亡数は 8 年連続で 3000 人を下回り、その死因別構成割合をみると、男女とも「先天奇形、変形及び染色体異常」の占める割合が多い（図 7-2）。

図 7-1 性・年齢階級別にみた主な死因の構成割合（平成 24 年）

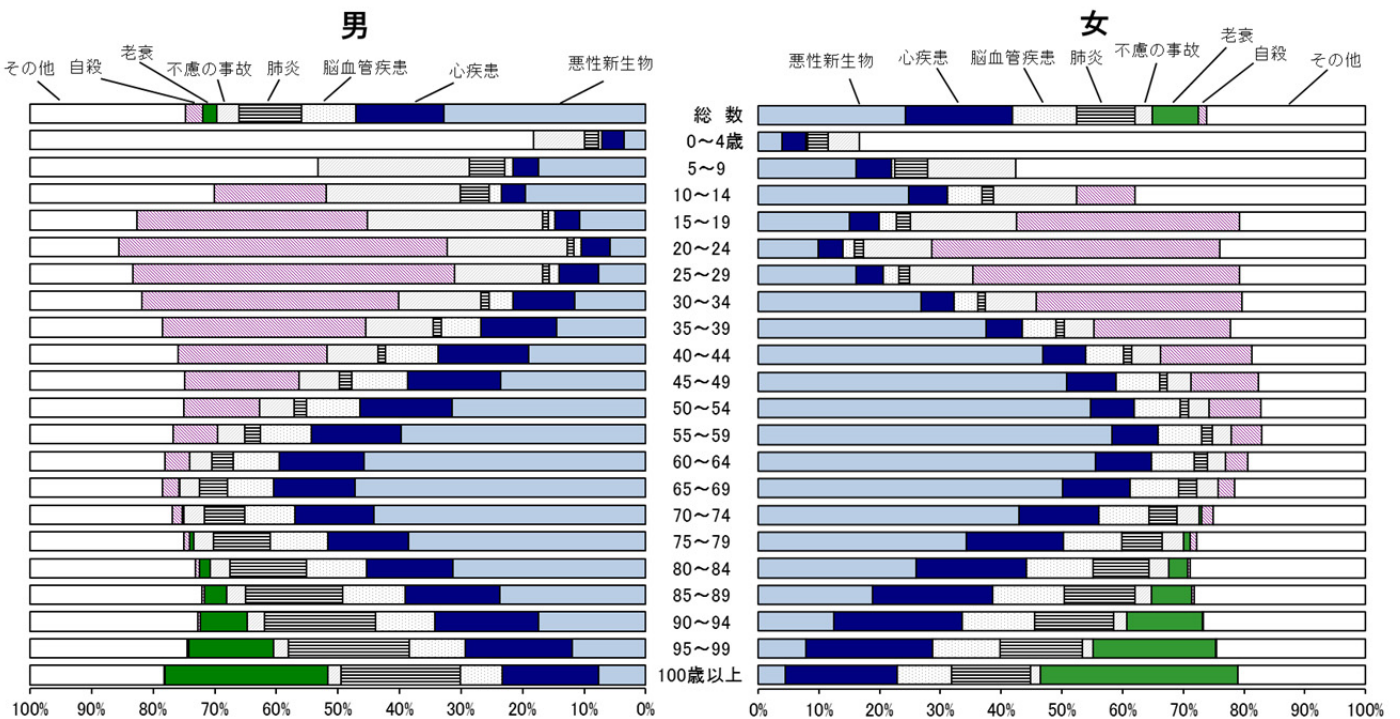
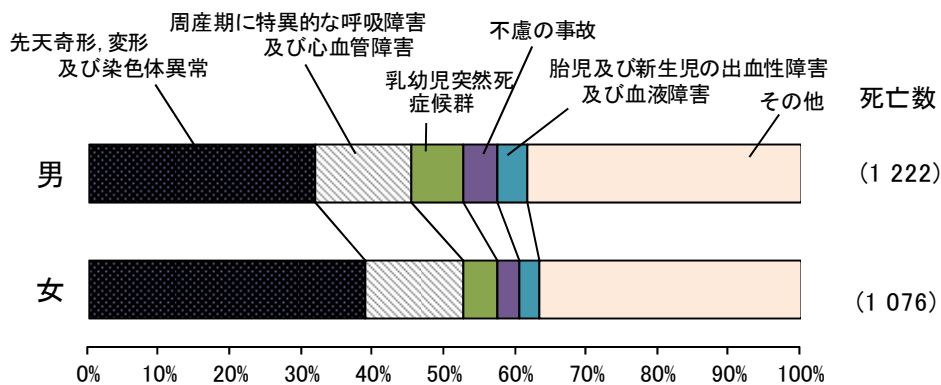


図 7-2 乳児死亡の主な死因の構成割合（平成 24 年）



③ 部位別にみた悪性新生物

悪性新生物について死亡数・死亡率を部位別にみると、男の「肺」は上昇傾向が著しく、平成5年に「胃」を上回って第1位となり、平成24年の死亡数は5万1362人、死亡率（人口10万対）は83.7となっている。

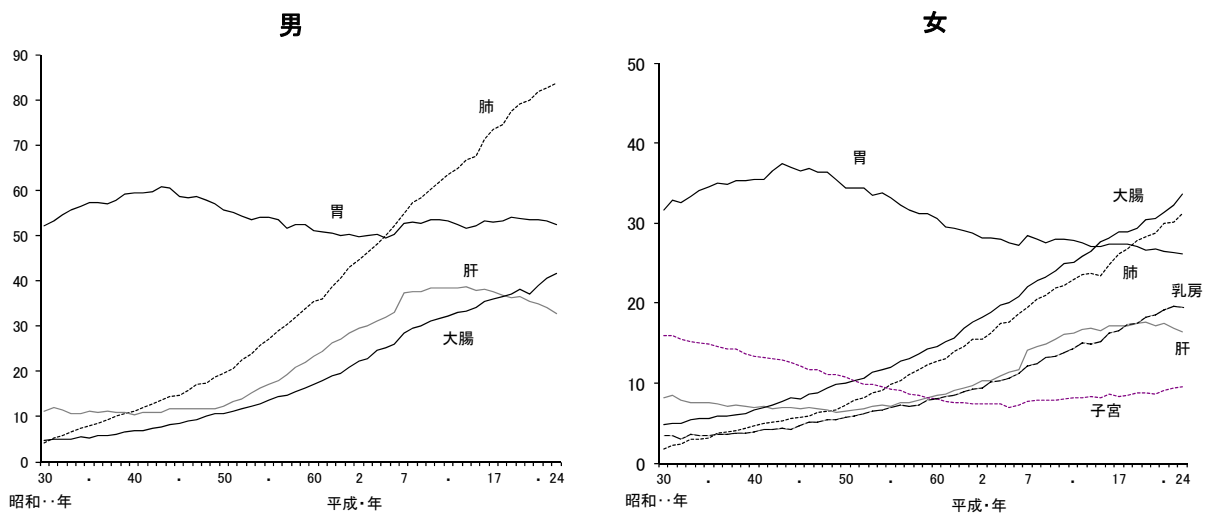
また、女の「大腸」と「肺」は上昇傾向が続いており、「大腸」は平成15年に「胃」を上回って第1位となり、平成24年の死亡数は2万1736人、死亡率（人口10万対）は33.6となっている（表8、図8）。

表8 悪性新生物の主な部位別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）

部位	昭和40年	50	60	平成7年	17	21	22	23	24
男									
胃	28 636	30 403	30 146	32 015	32 643	32 776	32 943	32 785	32 187
肝	5 006	6 677	13 780	22 773	23 203	21 637	21 510	20 972	20 055
肺	5 404	10 711	20 837	33 389	45 189	49 035	50 395	50 782	51 362
大腸	3 265	5 799	10 112	17 312	22 146	22 762	23 921	24 862	25 515
女									
胃	17 749	19 454	18 756	18 061	17 668	17 241	17 193	17 045	16 913
肝	3 499	3 696	5 192	8 934	11 065	11 088	11 255	10 903	10 625
肺	2 321	4 048	7 753	12 356	16 874	18 548	19 418	19 511	20 142
乳房	1 966	3 262	4 922	7 763	10 721	11 918	12 455	12 731	12 523
子宮	6 689	6 075	4 912	4 865	5 381	5 524	5 930	6 075	6 110
大腸	3 335	5 654	8 926	13 962	18 684	19 672	20 317	20 882	21 736
男									
胃	59.4	55.6	51.1	52.6	53.0	53.4	53.5	53.3	52.5
肝	10.4	12.2	23.3	37.4	37.7	35.3	34.9	34.1	32.7
肺	11.2	19.6	35.3	54.8	73.3	79.9	81.8	82.6	83.7
大腸	6.8	10.6	17.1	28.4	35.9	37.1	38.9	40.5	41.6
女									
胃	35.5	34.4	30.6	28.5	27.4	26.7	26.5	26.3	26.2
肝	7.0	6.5	8.5	14.1	17.1	17.2	17.4	16.8	16.4
肺	4.6	7.2	12.7	19.5	26.1	28.8	30.0	30.1	31.2
乳房	3.9	5.8	8.0	12.2	16.6	18.5	19.2	19.7	19.4
子宮	13.4	10.7	8.0	7.7	8.3	8.6	9.1	9.4	9.5
大腸	6.7	10.0	14.6	22.0	28.9	30.5	31.3	32.3	33.6

注：大腸の悪性新生物は、結腸の悪性新生物と直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物を示す。

図8 悪性新生物の主な部位別死亡率（人口10万対）の年次推移



4 婚姻

平成24年の婚姻件数は66万8788組で、前年の66万1895組より6893組増加し、婚姻率（人口千対）は5.3で前年の5.2を上回った。

婚姻件数は昭和40年代後半には100万組を超え、婚姻率（人口千対）も10.0以上で、婚姻ブームを呈した。その後は組数・率とも低下傾向となり、昭和63年以降は増加に転じ、平成5年以降は増減を繰り返しながらほぼ横ばいで推移していた。平成14年から4年連続で減少、平成18年以降は増減をくりかえし、平成21年以降は減少し続けていたが、平成24年は増加した（図9）。

初婚の妻の年齢（各歳）別婚姻件数の構成割合を10年ごとにみると、ピーク時の年齢が上昇するとともに、その年齢が占める割合は低下し、高い年齢の割合が増加している。また、年齢（5歳階級）別にみた妻の初婚率（女性人口千対）をみると、前年に比べ20～24歳では低下しているが、25～39歳の各年齢階級で増加している。（表9、図10）

平成24年の平均初婚年齢は、夫30.8歳、妻29.2歳で、前年より夫は0.1歳、妻は0.2歳上昇している。これを都道府県別にみると、平均初婚年齢が最も低いのは、夫が宮崎県の29.8歳、妻が福島県の28.1歳であり、最も高いのは夫・妻とも東京都で、夫32.1歳、妻30.3歳である。（表10-1、表10-2）

再婚の割合をみると、夫は19.0%で前年より0.2ポイント上昇し、妻は16.4%で前年と同率であった（表11）。

図9 婚姻件数及び婚姻率の年次推移

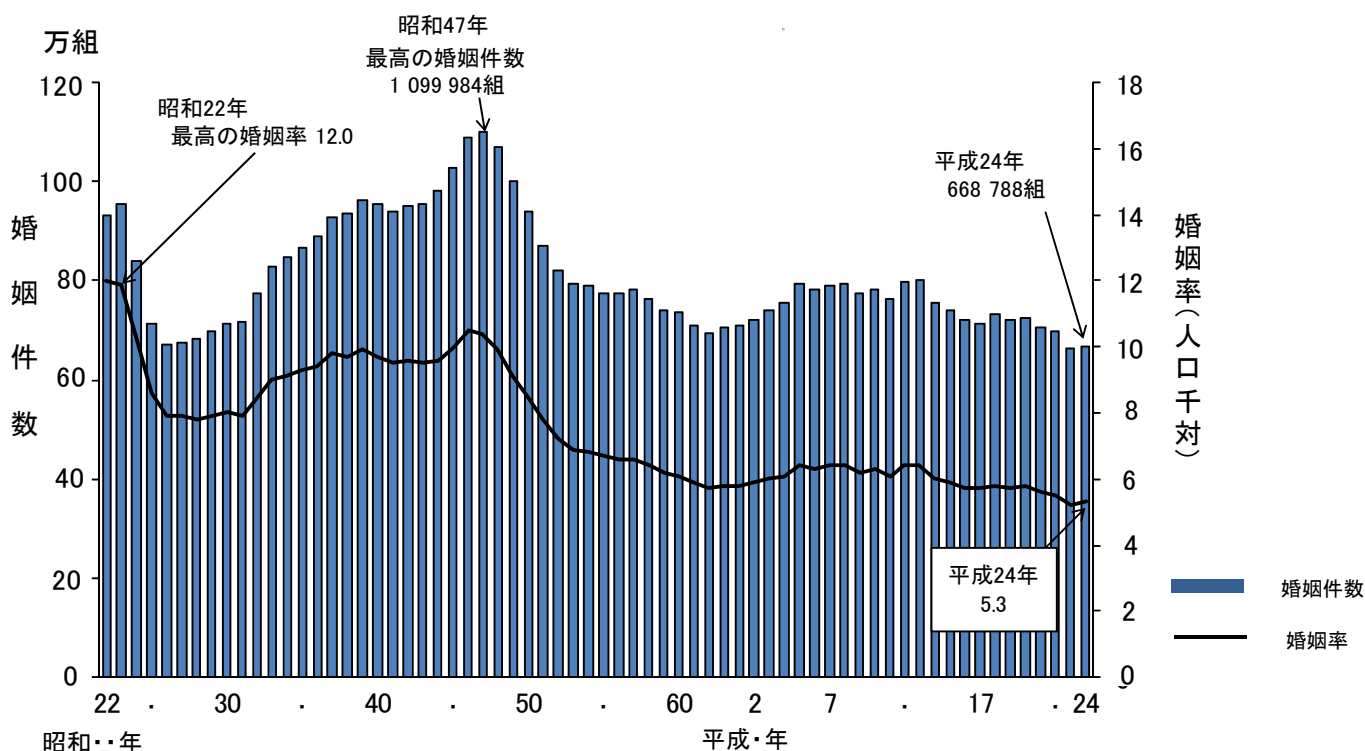
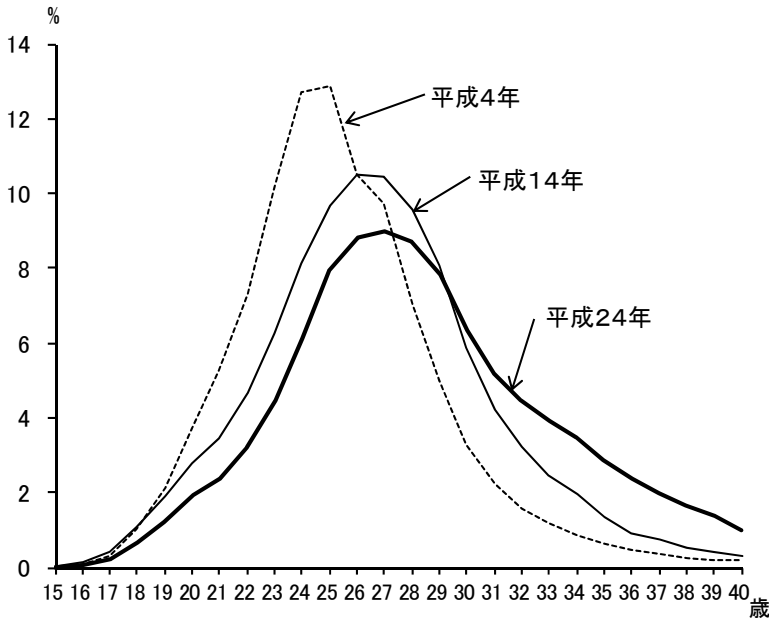


図10 初婚の妻の年齢（各歳）別婚姻件数の割合



注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表9 年齢（5歳階級）別にみた妻の初婚率（女性人口千対）の年次推移

	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
平成 5 年	52.07	72.61	16.72	3.35
10	44.88	66.16	19.62	4.50
15	36.24	60.82	23.29	6.28
21	32.03	60.63	27.99	9.16
22	32.02	60.37	28.46	9.72
23	29.48	58.04	27.80	9.68
24	28.69	59.27	29.15	10.50

注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表11 全婚姻件数に対する再婚件数の割合の年次推移

	夫	妻
	%	%
平成 5 年	12.7	11.1
10	13.9	12.4
15	17.1	15.4
21	18.7	16.4
22	18.5	16.2
23	18.8	16.4
24	19.0	16.4

表10-1 平均初婚年齢の年次推移

	夫	妻
	歳	歳
平成 5 年	28.4	26.1
10	28.6	26.7
15	29.4	27.6
21	30.4	28.6
22	30.5	28.8
23	30.7	29.0
24	30.8	29.2

注：各届出年に結婚生活に入ったもの。

表10-2 都道府県別にみた平均初婚年齢（平成24年）

都道府県	夫	妻
	歳	歳
北海道	30.4	29.0
青森	30.4	28.7
岩手	30.2	28.5
宮城	30.4	29.0
秋田	30.5	28.8
山形	30.4	28.6
福島	29.9	28.1
茨城	30.6	28.8
栃木	30.6	28.8
群馬	30.6	28.8
埼玉	31.3	29.4
千葉	31.2	29.3
東京都	32.1	30.3
神奈川県	31.5	29.7
新潟	30.6	28.9
富山	30.8	29.0
石川	30.4	28.9
福井	30.3	28.6
山梨	31.0	29.2
長野	31.2	29.3
岐阜	30.5	28.6
静岡県	30.7	28.8
愛知県	30.6	28.8
三重	30.3	28.6
滋賀	30.3	28.8
京都府	31.1	29.5
大阪府	30.8	29.3
兵庫県	30.6	29.1
奈良	30.8	29.1
和歌山	30.0	28.6
鳥取	30.5	28.7
島根	30.4	28.6
岡山	30.2	28.6
広島	30.2	28.7
山口	30.0	28.5
徳島	30.4	28.6
香川	30.1	28.7
愛媛	30.0	28.5
高知	30.7	29.2
福岡	30.5	29.1
佐賀	30.0	28.6
長崎	30.1	28.9
熊本	30.0	28.7
大分	30.3	29.1
宮崎	29.8	28.4
鹿児島	30.0	28.7
沖縄	29.9	28.5

注：平成24年に結婚生活に入ったもの。

5 離婚

平成24年の離婚件数は23万5394組で、前年の23万5719組より325組減少した。

離婚件数は昭和39年以降毎年増加し、昭和46年には10万組を超え、その後も増加を続けたが、昭和58年をピークに減少に転じ、平成3年から再び増加した。平成15年以降、平成21年を除き、減少している（図11）。

離婚率（人口千対）は1.87で、前年と同率であった（統計表第2表）。

離婚件数を同居期間別にみると、4年未満、5～10年未満、30～35年未満では減少しているが、それ以外の同居期間では増加している（表12、図12）。

図11 離婚件数及び離婚率の年次推移

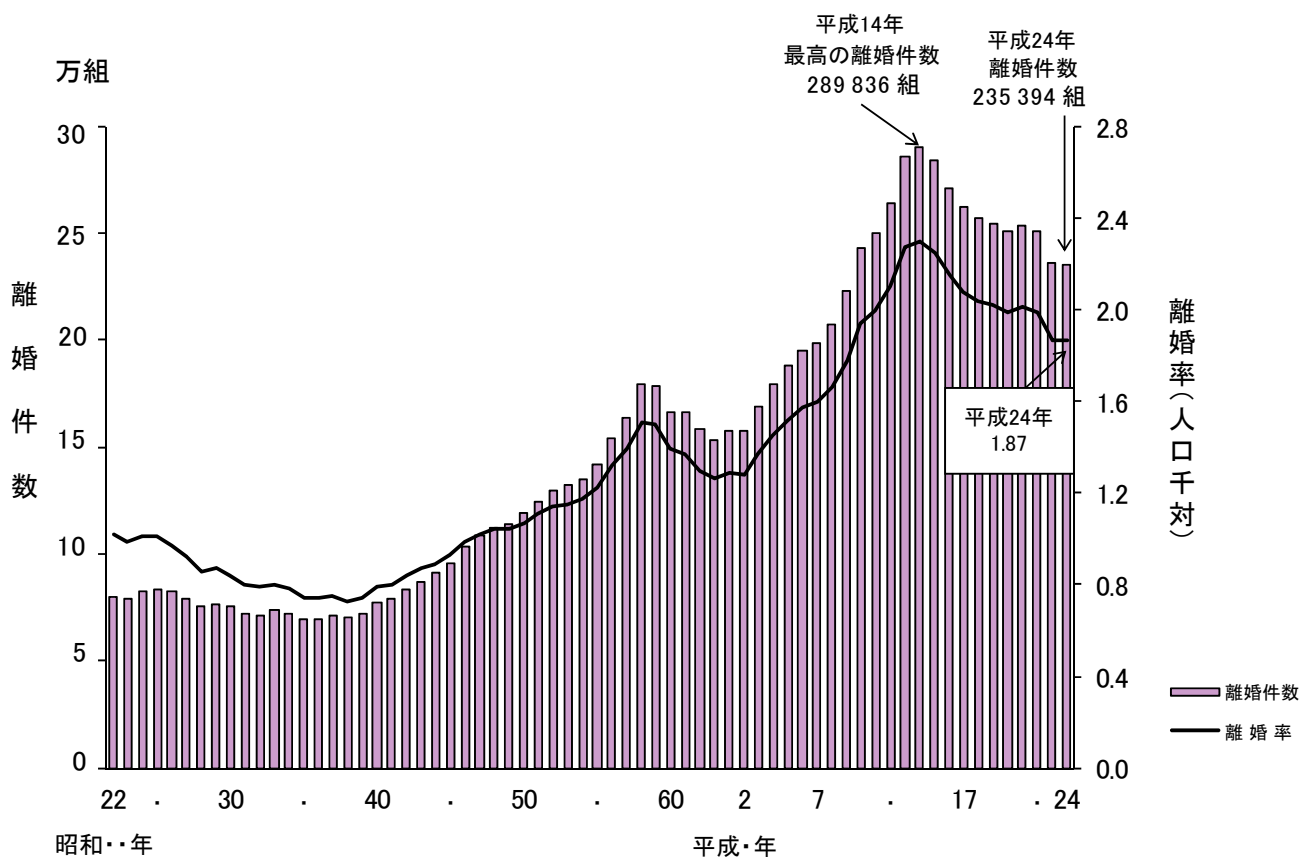
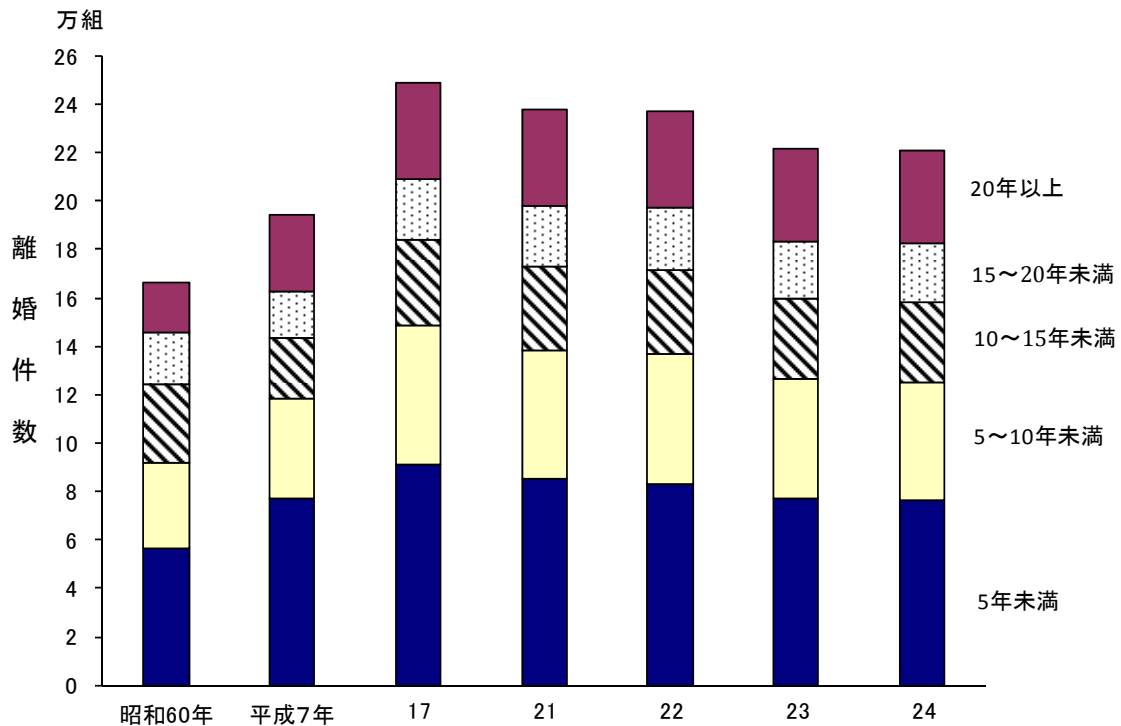


表 1 2 同居期間別離婚件数の年次推移

同居期間	昭和60年	平成7年	17	21	22	23	24	対前年(24年-23年)	
								増減数	増減率
総 数	166 640	199 016	261 917	253 353	251 378	235 719	235 394	△ 325	△ 0.1
5年未満	56 442	76 710	90 885	84 682	82 891	76 893	76 128	△ 765	△ 1.0
1年未満	12 656	14 893	16 558	16 584	15 697	14 594	14 459	△ 135	△ 0.9
1～2	12 817	18 081	20 159	19 480	18 796	16 935	16 811	△ 124	△ 0.7
2～3	11 710	16 591	19 435	18 250	17 735	16 563	16 009	△ 554	△ 3.3
3～4	10 434	14 576	18 144	16 187	16 193	14 989	14 961	△ 28	△ 0.2
4～5	8 825	12 569	16 589	14 181	14 470	13 812	13 888	76	0.6
5～10年未満	35 338	41 185	57 562	53 652	53 449	49 218	48 433	△ 785	△ 1.6
10～15年未満	32 310	25 308	35 093	34 180	34 862	32 978	33 045	67	0.2
15～20年未満	21 528	19 153	24 885	24 983	25 618	24 133	24 461	328	1.4
20年以上	20 434	31 877	40 395	40 096	40 084	37 791	38 553	762	2.0
20～25年未満	12 706	17 847	18 401	17 296	17 413	16 497	17 321	824	5.0
25～30	4 827	8 684	10 747	10 976	10 749	10 137	10 148	11	0.1
30～35	1 793	3 506	6 453	5 950	5 729	5 244	5 163	△ 81	△ 1.5
35年以上	1 108	1 840	4 794	5 874	6 193	5 913	5 921	8	0.1

注：総数には同居期間不詳を含む。

図 1 2 同居期間別離婚件数の年次推移



統 計 表

第1表 人口動態総覧の年次推移 (2-1)

年次		出生数	死亡数	(再掲)		自然増減数
				乳児死亡数	新生児死亡数	
1899	明治 32年	1 386 981	932 087	213 359	108 077	454 894
1900	33	1 420 534	910 744	220 211	112 259	509 790
1901	34	1 501 591	925 810	225 107	115 794	575 781
1902	35	1 510 835	959 126	232 652	116 654	551 709
1903	36	1 489 816	931 008	226 982	112 909	558 808
1904	37	1 440 371	955 400	218 756	106 477	484 971
1905	38	1 452 770	1 004 661	220 450	103 382	448 109
1906	39	1 394 295	955 256	214 148	105 307	439 039
1907	40	1 614 472	1 016 798	244 300	118 617	597 674
1908	41	1 662 815	1 029 447	262 801	123 867	633 368
1909	42	1 693 850	1 091 264	283 436	129 629	602 586
1910	43	1 712 857	1 064 234	276 136	126 910	648 623
1911	44	1 747 803	1 043 906	276 798	127 302	703 897
1912	大正 元年	1 737 674	1 037 016	268 025	123 902	700 658
1913	2	1 757 441	1 027 257	267 281	124 213	730 184
1914	3	1 808 402	1 101 815	286 678	125 745	706 587
1915	4	1 799 326	1 093 793	288 634	125 337	705 533
1916	5	1 804 822	1 187 832	307 283	132 000	616 990
1917	6	1 812 413	1 199 669	313 872	139 717	612 744
1918	7	1 791 992	1 493 162	337 919	145 710	298 830
1919	8	1 778 685	1 281 965	303 202	129 072	496 720
1920	9	2 025 564	1 422 096	335 613	139 681	603 468
1921	10	1 990 876	1 288 570	335 143	136 342	702 306
1922	11	1 969 314	1 286 941	327 604	132 856	682 373
1923	12	2 043 297	1 332 485	333 930	135 504	710 812
1924	13	1 998 520	1 254 946	312 267	126 385	743 574
1925	14	2 086 091	1 210 706	297 008	121 238	875 385
1926	昭和 元年	2 104 405	1 160 734	289 275	119 642	943 671
1927	2	2 060 737	1 214 323	292 084	116 240	846 414
1928	3	2 135 852	1 236 711	293 881	115 682	899 141
1929	4	2 077 026	1 261 228	295 178	115 009	815 798
1930	5	2 085 101	1 170 867	258 703	104 101	914 234
1931	6	2 102 784	1 240 891	276 584	108 812	861 893
1932	7	2 182 742	1 175 344	256 505	104 573	1 007 398
1933	8	2 121 253	1 193 987	257 251	102 887	927 266
1934	9	2 043 783	1 234 684	255 063	103 408	809 099
1935	10	2 190 704	1 161 936	233 706	97 994	1 028 768
1936	11	2 101 969	1 230 278	245 357	101 043	871 691
1937	12	2 180 734	1 207 899	230 701	95 465	972 835
1938	13	1 928 321	1 259 805	220 695	89 159	668 516
1939	14	1 901 573	1 268 760	202 018	84 204	632 813
1940	15	2 115 867	1 186 595	190 509	81 869	929 272
1941	16	2 277 283	1 149 559	191 420	77 829	1 127 724
1942	17	2 233 660	1 166 630	190 897	76 177	1 067 030
1943	18	2 253 535	1 213 811	195 219	76 588	1 039 724
1947	22	2 678 792	1 138 238	205 360	84 204	1 540 554
1948	23	2 681 624	950 610	165 406	73 855	1 731 014
1949	24	2 696 638	945 444	168 467	72 432	1 751 194
1950	25	2 337 507	904 876	140 515	64 142	1 432 631
1951	26	2 137 689	838 998	122 869	58 686	1 298 691
1952	27	2 005 162	765 068	99 114	51 015	1 240 094
1953	28	1 868 040	772 547	91 424	47 580	1 095 493
1954	29	1 769 580	721 491	78 944	42 726	1 048 089

注： *印は概数である。

年 次		出 生 数	死 亡 数	(再 掲) 乳児死亡数	新生児死亡数	自然増減数
1955	昭和 30 年	1 730 692	693 523	68 801	38 646	1 037 169
1956	31	1 665 278	724 460	67 691	38 232	940 818
1957	32	1 566 713	752 445	62 678	33 847	814 268
1958	33	1 653 469	684 189	57 052	32 237	969 280
1959	34	1 626 088	689 959	54 768	30 235	936 129
1960	35	1 606 041	706 599	49 293	27 362	899 442
1961	36	1 589 372	695 644	45 465	26 255	893 728
1962	37	1 618 616	710 265	42 797	24 777	908 351
1963	38	1 659 521	670 770	38 442	22 965	988 751
1964	39	1 716 761	673 067	34 967	21 344	1 043 694
1965	40	1 823 697	700 438	33 742	21 260	1 123 259
1966	41	1 360 974	670 342	26 217	16 296	690 632
1967	42	1 935 647	675 006	28 928	19 248	1 260 641
1968	43	1 871 839	686 555	28 600	18 326	1 185 284
1969	44	1 889 815	693 787	26 874	17 116	1 196 028
1970	45	1 934 239	712 962	25 412	16 742	1 221 277
1971	46	2 000 973	684 521	24 805	16 450	1 316 452
1972	47	2 038 682	683 751	23 773	15 817	1 354 931
1973	48	2 091 983	709 416	23 683	15 473	1 382 567
1974	49	2 029 989	710 510	21 888	14 472	1 319 479
1975	50	1 901 440	702 275	19 103	12 912	1 199 165
1976	51	1 832 617	703 270	17 105	11 638	1 129 347
1977	52	1 755 100	690 074	15 666	10 773	1 065 026
1978	53	1 708 643	695 821	14 327	9 628	1 012 822
1979	54	1 642 580	689 664	12 923	8 590	952 916
1980	55	1 576 889	722 801	11 841	7 796	854 088
1981	56	1 529 455	720 262	10 891	7 188	809 193
1982	57	1 515 392	711 883	9 969	6 425	803 509
1983	58	1 508 687	740 038	9 406	5 894	768 649
1984	59	1 489 780	740 247	8 920	5 527	749 533
1985	60	1 431 577	752 283	7 899	4 910	679 294
1986	61	1 382 946	750 620	7 251	4 296	632 326
1987	62	1 346 658	751 172	6 711	3 933	595 486
1988	63	1 314 006	793 014	6 265	3 592	520 992
1989	平成 元年	1 246 802	788 594	5 724	3 214	458 208
1990	2	1 221 585	820 305	5 616	3 179	401 280
1991	3	1 223 245	829 797	5 418	2 978	393 448
1992	4	1 208 989	856 643	5 477	2 905	352 346
1993	5	1 188 282	878 532	5 169	2 765	309 750
1994	6	1 238 328	875 933	5 261	2 889	362 395
1995	7	1 187 064	922 139	5 054	2 615	264 925
1996	8	1 206 555	896 211	4 546	2 438	310 344
1997	9	1 191 665	913 402	4 403	2 307	278 263
1998	10	1 203 147	936 484	4 380	2 353	266 663
1999	11	1 177 669	982 031	4 010	2 137	195 638
2000	12	1 190 547	961 653	3 830	2 106	228 894
2001	13	1 170 662	970 331	3 599	1 909	200 331
2002	14	1 153 855	982 379	3 497	1 937	171 476
2003	15	1 123 610	1 014 951	3 364	1 879	108 659
2004	16	1 110 721	1 028 602	3 122	1 622	82 119
2005	17	1 062 530	1 083 796	2 958	1 510	△ 21 266
2006	18	1 092 674	1 084 450	2 864	1 444	8 224
2007	19	1 089 818	1 108 334	2 828	1 434	△ 18 516
2008	20	1 091 156	1 142 407	2 798	1 331	△ 51 251
2009	21	1 070 035	1 141 865	2 556	1 254	△ 71 830
2010	22	1 071 304	1 197 012	2 450	1 167	△ 125 708
2011	23	1 050 806	1 253 066	2 463	1 147	△ 202 260
2012	* 24	1 037 101	1 256 254	2 298	1 064	△ 219 153

第1表 人口動態総覧の年次推移 (2-2)

年次		死産数			2) 周産期死亡数	婚姻件数	離婚件数	(参考) 3) 周産期死亡数
		総数	自然死産	人工死産				
1899	明治 32年	135 727	297 372	66 545	...
1900	33	137 987	346 528	63 828	...
1901	34	155 489	378 457	63 442	...
1902	35	157 708	394 165	64 139	...
1903	36	153 920	370 961	65 392	...
1904	37	147 058	398 930	63 913	...
1905	38	142 092	350 898	60 061	...
1906	39	149 731	352 857	65 398	...
1907	40	158 814	432 949	61 058	...
1908	41	162 676	461 254	60 226	...
1909	42	161 576	437 882	58 936	...
1910	43	157 392	441 222	59 432	...
1911	44	155 319	433 117	58 067	...
1912	大正 元年	147 545	430 422	59 143	...
1913	2	147 769	431 287	59 536	...
1914	3	145 692	452 932	59 992	...
1915	4	141 301	445 210	59 943	...
1916	5	139 998	433 680	60 254	...
1917	6	140 328	447 970	55 812	...
1918	7	142 507	500 580	56 474	...
1919	8	132 939	480 136	56 812	...
1920	9	144 038	546 207	55 511	...
1921	10	138 301	519 217	53 402	...
1922	11	132 244	515 916	53 053	...
1923	12	133 863	512 689	51 212	...
1924	13	125 839	513 130	51 770	...
1925	14	124 403	521 438	51 687	...
1926	昭和 元年	124 038	502 847	50 119	...
1927	2	116 922	487 850	50 626	...
1928	3	120 191	499 555	49 119	...
1929	4	116 971	497 410	51 222	...
1930	5	117 730	506 674	51 259	...
1931	6	116 509	496 574	50 609	...
1932	7	119 579	515 270	51 437	...
1933	8	114 138	486 058	49 282	...
1934	9	113 043	512 654	48 610	...
1935	10	115 593	556 730	48 528	...
1936	11	111 056	549 116	46 167	...
1937	12	111 485	674 500	46 500	...
1938	13	99 528	538 831	44 656	...
1939	14	98 349	554 321	45 970	...
1940	15	102 034	666 575	48 556	...
1941	16	103 400	791 625	49 424	...
1942	17	95 448	679 044	46 268	...
1943	18	92 889	743 842	49 705	...
1947	22	123 837	934 170	79 551	...
1948	23	1) 143 963	* 104 325	* 31 055	...	953 999	79 032	...
1949	24	1) 192 677	* 114 161	* 75 585	...	842 170	82 575	...
1950	25	216 974	106 594	110 380	...	715 081	83 689	108 843
1951	26	217 231	101 237	115 994	...	671 905	82 331	99 865
1952	27	203 824	94 508	109 316	...	676 995	79 021	91 527
1953	28	193 274	89 751	103 523	...	682 077	75 255	85 932
1954	29	187 119	87 201	99 918	...	697 809	76 759	79 776

注： *印は概数である。

- 1) 昭和23年、24年の死産には自然・人工死産の不詳を含む。
- 2) 妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。
- 3) 妊娠満28週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。

年 次		死 産 数			2) 周産期死亡数	婚姻件数	離婚件数	(参考) 3) 周産期死亡数
		総 数	自然死産	人工死産				
1955	昭和 30 年	183 265	85 159	98 106	...	714 861	75 267	75 918
1956	31	179 007	86 558	92 449	...	715 934	72 040	75 706
1957	32	176 353	86 895	89 458	...	773 362	71 651	70 502
1958	33	185 148	92 282	92 866	...	826 902	74 004	72 625
1959	34	181 893	92 688	89 205	...	847 135	72 455	69 912
1960	35	179 281	93 424	85 857	...	866 115	69 410	66 552
1961	36	179 895	96 032	83 863	...	890 158	69 323	65 063
1962	37	177 363	97 256	80 107	...	928 341	71 394	62 650
1963	38	175 424	97 711	77 713	...	937 516	69 996	60 049
1964	39	168 046	97 357	70 689	...	963 130	72 306	56 827
1965	40	161 617	94 476	67 141	...	954 852	77 195	54 904
1966	41	148 248	83 253	64 995	...	940 120	79 432	42 583
1967	42	149 389	90 938	58 451	...	953 096	83 478	50 846
1968	43	143 259	87 381	55 878	...	956 312	87 327	45 921
1969	44	139 211	85 788	53 423	...	984 142	91 280	43 419
1970	45	135 095	84 073	51 022	...	1 029 405	95 937	41 917
1971	46	130 920	83 827	47 093	...	1 091 229	103 595	40 900
1972	47	125 154	81 741	43 413	...	1 099 984	108 382	38 754
1973	48	116 171	78 613	37 558	...	1 071 923	111 877	37 598
1974	49	109 738	74 618	35 120	...	1 000 455	113 622	34 383
1975	50	101 862	67 643	34 219	...	941 628	119 135	30 513
1976	51	101 930	64 046	37 884	...	871 543	124 512	27 133
1977	52	95 247	60 330	34 917	...	821 029	129 485	24 708
1978	53	87 463	55 818	31 645	...	793 257	132 146	22 217
1979	54	82 311	51 083	31 228	36 190	788 505	135 250	20 481
1980	55	77 446	47 651	29 795	32 422	774 702	141 689	18 385
1981	56	79 222	46 296	32 926	30 274	776 531	154 221	16 531
1982	57	78 107	44 135	33 972	28 204	781 252	163 980	15 303
1983	58	71 941	40 108	31 833	25 925	762 552	179 150	14 035
1984	59	72 361	37 976	34 385	25 149	739 991	178 746	12 998
1985	60	69 009	33 114	35 895	22 379	735 850	166 640	11 470
1986	61	65 678	31 050	34 628	20 389	710 962	166 054	10 148
1987	62	63 834	29 956	33 878	18 699	696 173	158 227	9 317
1988	63	59 636	26 804	32 832	16 839	707 716	153 600	8 508
1989	平成 元 年	55 204	24 558	30 646	15 183	708 316	157 811	7 450
1990	2	53 892	23 383	30 509	13 704	722 138	157 608	7 001
1991	3	50 510	22 317	28 193	10 426	742 264	168 969	6 544
1992	4	48 896	21 689	27 207	9 888	754 441	179 191	6 321
1993	5	45 090	20 205	24 885	9 226	792 658	188 297	5 989
1994	6	42 962	19 754	23 208	9 286	782 738	195 106	6 134
1995	7	39 403	18 262	21 141	8 412	791 888	199 016	5 526
1996	8	39 536	18 329	21 207	8 080	795 080	206 955	5 321
1997	9	39 546	17 453	22 093	7 624	775 651	222 635	4 974
1998	10	38 988	16 936	22 052	7 447	784 595	243 183	4 927
1999	11	38 452	16 711	21 741	7 102	762 028	250 529	4 665
2000	12	38 393	16 200	22 193	6 881	798 138	264 246	4 562
2001	13	37 467	15 704	21 763	6 476	799 999	285 911	4 238
2002	14	36 978	15 161	21 817	6 333	757 331	289 836	4 224
2003	15	35 330	14 644	20 686	5 929	740 191	283 854	3 995
2004	16	34 365	14 288	20 077	5 541	720 417	270 804	3 671
2005	17	31 818	13 502	18 316	5 149	714 265	261 917	3 492
2006	18	30 911	13 424	17 487	5 100	730 971	257 475	3 420
2007	19	29 313	13 107	16 206	4 906	719 822	254 832	3 306
2008	20	28 177	12 625	15 552	4 720	726 106	251 136	3 178
2009	21	27 005	12 214	14 791	4 519	707 734	253 353	3 096
2010	22	26 560	12 245	14 315	4 515	700 214	251 378	3 065
2011	23	25 751	11 940	13 811	4 315	661 895	235 719	2 961
2012	* 24	24 804	11 444	13 360	4 134	668 788	235 394	2 760

第2表 人口動態総覧（率）の年次推移 (2-1)

年次		出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増減率	死産率 ¹⁾	自然死産率	人工死産率
		(人口千対)	(人口千対)	(出生千対)	(出生千対)	(人口千対)	(出産千対)		
1899	明治 32年	32.0	21.5	153.8	77.9	10.5	89.1
1900	33	32.4	20.8	155.0	79.0	11.6	88.5
1901	34	33.9	20.9	149.9	77.1	13.0	93.8
1902	35	33.6	21.3	154.0	77.2	12.3	94.5
1903	36	32.7	20.4	152.4	75.8	12.3	93.6
1904	37	31.2	20.7	151.9	73.9	10.5	92.6
1905	38	31.2	21.6	151.7	71.2	9.6	89.1
1906	39	29.6	20.3	153.6	75.5	9.3	97.0
1907	40	34.0	21.4	151.3	73.5	12.6	89.6
1908	41	34.7	21.5	158.0	74.5	13.2	89.1
1909	42	34.9	22.5	167.3	76.5	12.4	87.1
1910	43	34.8	21.6	161.2	74.1	13.2	84.2
1911	44	35.1	20.9	158.4	72.8	14.1	81.6
1912	大正 元年	34.4	20.5	154.2	71.3	13.9	78.3
1913	2	34.3	20.0	152.1	70.7	14.2	77.6
1914	3	34.8	21.2	158.5	69.5	13.6	74.6
1915	4	34.1	20.7	160.4	69.7	13.4	72.8
1916	5	33.7	22.2	170.3	73.1	11.5	72.0
1917	6	33.5	22.2	173.2	77.1	11.3	71.9
1918	7	32.7	27.3	188.6	81.3	5.5	73.7
1919	8	32.3	23.3	170.5	72.6	9.0	69.5
1920	9	36.2	25.4	165.7	69.0	10.8	66.4
1921	10	35.1	22.7	168.3	68.5	12.4	65.0
1922	11	34.3	22.4	166.4	67.5	11.9	62.9
1923	12	35.2	22.9	163.4	66.3	12.2	61.5
1924	13	33.9	21.3	156.2	63.2	12.6	59.2
1925	14	34.9	20.3	142.4	58.1	14.7	56.3
1926	昭和 元年	34.6	19.1	137.5	56.9	15.5	55.7
1927	2	33.4	19.7	141.7	56.4	13.7	53.7
1928	3	34.1	19.8	137.6	54.2	14.4	53.3
1929	4	32.7	19.9	142.1	55.4	12.9	53.3
1930	5	32.4	18.2	124.1	49.9	14.2	53.4
1931	6	32.1	19.0	131.5	51.7	13.2	52.5
1932	7	32.9	17.7	117.5	47.9	15.2	51.9
1933	8	31.5	17.7	121.3	48.5	13.8	51.1
1934	9	29.9	18.1	124.8	50.6	11.8	52.4
1935	10	31.6	16.8	106.7	44.7	14.9	50.1
1936	11	30.0	17.5	116.7	48.1	12.4	50.2
1937	12	30.9	17.1	105.8	43.8	13.8	48.6
1938	13	27.2	17.7	114.4	46.2	9.4	49.1
1939	14	26.6	17.8	106.2	44.3	8.9	49.2
1940	15	29.4	16.5	90.0	38.7	12.9	46.0
1941	16	31.8	16.0	84.1	34.2	15.7	43.4
1942	17	30.9	16.1	85.5	34.1	14.7	41.0
1943	18	30.9	16.7	86.6	33.8	14.3	39.6
1947	22	34.3	14.6	76.7	31.4	19.7	44.2
1948	23	33.5	11.9	61.7	27.5	21.6	50.9	* 36.9	* 10.9
1949	24	33.0	11.6	62.5	26.9	21.4	66.7	* 39.1	* 25.9
1950	25	28.1	10.9	60.1	27.4	17.2	84.9	41.7	43.2
1951	26	25.3	9.9	57.5	27.5	15.4	92.2	43.0	49.3
1952	27	23.4	8.9	49.4	25.4	14.4	92.3	42.8	49.5
1953	28	21.5	8.9	48.9	25.5	12.6	93.8	43.5	50.2
1954	29	20.0	8.2	44.6	24.1	11.9	95.6	44.6	51.1

注： *印は概数である。

1) 死産率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除している。

年 次		出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増減率	死産率 ¹⁾	自然死産率	人工死産率
		(人口千対)	(人口千対)	(出生千対)	(出生千対)	(人口千対)	(出産千対)		
1955	昭和 30 年	19.4	7.8	39.8	22.3	11.6	95.8	44.5	51.3
1956	31	18.4	8.0	40.6	23.0	10.4	97.1	46.9	50.1
1957	32	17.2	8.3	40.0	21.6	8.9	101.2	49.9	51.3
1958	33	18.0	7.4	34.5	19.5	10.5	100.7	50.2	50.5
1959	34	17.5	7.4	33.7	18.6	10.1	100.6	51.3	49.3
1960	35	17.2	7.6	30.7	17.0	9.6	100.4	52.3	48.1
1961	36	16.9	7.4	28.6	16.5	9.5	101.7	54.3	47.4
1962	37	17.0	7.5	26.4	15.3	9.5	98.8	54.2	44.6
1963	38	17.3	7.0	23.2	13.8	10.3	95.6	53.3	42.4
1964	39	17.7	6.9	20.4	12.4	10.7	89.2	51.7	37.5
1965	40	18.6	7.1	18.5	11.7	11.4	81.4	47.6	33.8
1966	41	13.7	6.8	19.3	12.0	7.0	98.2	55.2	43.1
1967	42	19.4	6.8	14.9	9.9	12.7	71.6	43.6	28.0
1968	43	18.6	6.8	15.3	9.8	11.8	71.1	43.4	27.7
1969	44	18.5	6.8	14.2	9.1	11.7	68.6	42.3	26.3
1970	45	18.8	6.9	13.1	8.7	11.8	65.3	40.6	24.7
1971	46	19.2	6.6	12.4	8.2	12.6	61.4	39.3	22.1
1972	47	19.3	6.5	11.7	7.8	12.8	57.8	37.8	20.1
1973	48	19.4	6.6	11.3	7.4	12.8	52.6	35.6	17.0
1974	49	18.6	6.5	10.8	7.1	12.1	51.3	34.9	16.4
1975	50	17.1	6.3	10.0	6.8	10.8	50.8	33.8	17.1
1976	51	16.3	6.3	9.3	6.4	10.0	52.7	33.1	19.6
1977	52	15.5	6.1	8.9	6.1	9.4	51.5	32.6	18.9
1978	53	14.9	6.1	8.4	5.6	8.8	48.7	31.1	17.6
1979	54	14.2	6.0	7.9	5.2	8.3	47.7	29.6	18.1
1980	55	13.6	6.2	7.5	4.9	7.3	46.8	28.8	18.0
1981	56	13.0	6.1	7.1	4.7	6.9	49.2	28.8	20.5
1982	57	12.8	6.0	6.6	4.2	6.8	49.0	27.7	21.3
1983	58	12.7	6.2	6.2	3.9	6.5	45.5	25.4	20.1
1984	59	12.5	6.2	6.0	3.7	6.3	46.3	24.3	22.0
1985	60	11.9	6.3	5.5	3.4	5.6	46.0	22.1	23.9
1986	61	11.4	6.2	5.2	3.1	5.2	45.3	21.4	23.9
1987	62	11.1	6.2	5.0	2.9	4.9	45.3	21.2	24.0
1988	63	10.8	6.5	4.8	2.7	4.3	43.4	19.5	23.9
1989	平成 元 年	10.2	6.4	4.6	2.6	3.7	42.4	18.9	23.5
1990	2	10.0	6.7	4.6	2.6	3.3	42.3	18.3	23.9
1991	3	9.9	6.7	4.4	2.4	3.2	39.7	17.5	22.1
1992	4	9.8	6.9	4.5	2.4	2.9	38.9	17.2	21.6
1993	5	9.6	7.1	4.3	2.3	2.5	36.6	16.4	20.2
1994	6	10.0	7.1	4.2	2.3	2.9	33.5	15.4	18.1
1995	7	9.6	7.4	4.3	2.2	2.1	32.1	14.9	17.2
1996	8	9.7	7.2	3.8	2.0	2.5	31.7	14.7	17.0
1997	9	9.5	7.3	3.7	1.9	2.2	32.1	14.2	17.9
1998	10	9.6	7.5	3.6	2.0	2.1	31.4	13.6	17.8
1999	11	9.4	7.8	3.4	1.8	1.6	31.6	13.7	17.9
2000	12	9.5	7.7	3.2	1.8	1.8	31.2	13.2	18.1
2001	13	9.3	7.7	3.1	1.6	1.6	31.0	13.0	18.0
2002	14	9.2	7.8	3.0	1.7	1.4	31.1	12.7	18.3
2003	15	8.9	8.0	3.0	1.7	0.9	30.5	12.6	17.8
2004	16	8.8	8.2	2.8	1.5	0.7	30.0	12.5	17.5
2005	17	8.4	8.6	2.8	1.4	△ 0.2	29.1	12.3	16.7
2006	18	8.7	8.6	2.6	1.3	0.1	27.5	11.9	15.6
2007	19	8.6	8.8	2.6	1.3	△ 0.1	26.2	11.7	14.5
2008	20	8.7	9.1	2.6	1.2	△ 0.4	25.2	11.3	13.9
2009	21	8.5	9.1	2.4	1.2	△ 0.6	24.6	11.1	13.5
2010	22	8.5	9.5	2.3	1.1	△ 1.0	24.2	11.2	13.0
2011	23	8.3	9.9	2.3	1.1	△ 1.6	23.9	11.1	12.8
2012	* 24	8.2	10.0	2.2	1.0	△ 1.7	23.4	10.8	12.6

第2表 人口動態総覧（率）の年次推移（2-2）

年次	周産期死亡率 ²⁾ (出産千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率	合計特殊 出生率	年齢調整死亡率 ³⁾ (人口千対)		(参考) ⁴⁾ 周産期死亡率 (出生千対)	
					男	女		
1899	明治 32年	...	6.9	1.53
1900	33	...	7.9	1.46
1901	34	...	8.5	1.43
1902	35	...	8.8	1.43
1903	36	...	8.1	1.44
1904	37	...	8.6	1.39
1905	38	...	7.5	1.29
1906	39	...	7.5	1.39
1907	40	...	9.1	1.29
1908	41	...	9.6	1.26
1909	42	...	9.0	1.21
1910	43	...	9.0	1.21
1911	44	...	8.7	1.16
1912	大正 元年	...	8.5	1.17
1913	2	...	8.4	1.16
1914	3	...	8.7	1.15
1915	4	...	8.4	1.14
1916	5	...	8.1	1.13
1917	6	...	8.3	1.03
1918	7	...	9.1	1.03
1919	8	...	8.7	1.03
1920	9	...	9.8	0.99
1921	10	...	9.2	0.94
1922	11	...	9.0	0.92
1923	12	...	8.8	0.88
1924	13	...	8.7	0.88
1925	14	...	8.7	0.87
1926	昭和 元年	...	8.3	0.83
1927	2	...	7.9	0.82
1928	3	...	8.0	0.78
1929	4	...	7.8	0.81
1930	5	...	7.9	0.80
1931	6	...	7.6	0.77
1932	7	...	7.8	0.77
1933	8	...	7.2	0.73
1934	9	...	7.5	0.71
1935	10	...	8.0	0.70
1936	11	...	7.8	0.66
1937	12	...	9.5	0.66
1938	13	...	7.6	0.63
1939	14	...	7.8	0.64
1940	15	...	9.3	0.68
1941	16	...	11.0	0.69
1942	17	...	9.4	0.64
1943	18	...	10.2	0.68
1947	22	...	12.0	1.02	4.54	23.6	18.3	...
1948	23	...	11.9	0.99	4.40	19.3	15.4	...
1949	24	...	10.3	1.01	4.32	18.9	15.0	...
1950	25	...	8.6	1.01	3.65	18.6	14.6	46.6
1951	26	...	7.9	0.97	3.26	16.9	13.4	46.7
1952	27	...	7.9	0.92	2.98	15.7	12.4	45.6
1953	28	...	7.8	0.86	2.69	16.4	12.6	46.0
1954	29	...	7.9	0.87	2.48	15.2	11.3	45.1

注：*印は概数である。

2) 妊娠満22週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出産数(妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの)で除している。

3) 年齢調整死亡率は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口(昭和60年モデル人口)にあてはめて算出した指標である。

4) 妊娠満28週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出生数で除している。

年 次		2)			合計特殊 出生率	3)		(参考) 4)
		周産期死亡率 (出産千対)	婚姻率 (人 口 千 対)	離婚率		年齢調整死亡率 (人 口 千 対)		周産期死亡率 (出生千対)
						男	女	
1955	昭和 30 年	...	8.0	0.84	2.37	14.8	11.0	43.9
1956	31	...	7.9	0.80	2.22	15.6	11.5	45.5
1957	32	...	8.5	0.79	2.04	16.3	11.8	45.0
1958	33	...	9.0	0.80	2.11	14.4	10.4	43.9
1959	34	...	9.1	0.78	2.04	14.4	10.2	43.0
1960	35	...	9.3	0.74	2.00	14.8	10.4	41.4
1961	36	...	9.4	0.74	1.96	14.3	10.0	40.9
1962	37	...	9.8	0.75	1.98	14.6	10.0	38.7
1963	38	...	9.7	0.73	2.00	13.4	9.3	36.2
1964	39	...	9.9	0.74	2.05	13.2	9.1	33.1
1965	40	...	9.7	0.79	2.14	13.7	9.3	30.1
1966	41	...	9.5	0.80	1.58	12.7	8.7	31.3
1967	42	...	9.6	0.84	2.23	12.6	8.5	26.3
1968	43	...	9.5	0.87	2.13	12.5	8.4	24.5
1969	44	...	9.6	0.89	2.13	12.4	8.2	23.0
1970	45	...	10.0	0.93	2.13	12.3	8.2	21.7
1971	46	...	10.5	0.99	2.16	11.5	7.6	20.4
1972	47	...	10.4	1.02	2.14	11.2	7.4	19.0
1973	48	...	9.9	1.04	2.14	11.2	7.4	18.0
1974	49	...	9.1	1.04	2.05	10.9	7.2	16.9
1975	50	...	8.5	1.07	1.91	10.4	6.9	16.0
1976	51	...	7.8	1.11	1.85	10.1	6.6	14.8
1977	52	...	7.2	1.14	1.80	9.6	6.2	14.1
1978	53	...	6.9	1.15	1.79	9.4	6.0	13.0
1979	54	21.6	6.8	1.17	1.77	9.0	5.7	12.5
1980	55	20.2	6.7	1.22	1.75	9.2	5.8	11.7
1981	56	19.5	6.6	1.32	1.74	8.9	5.6	10.8
1982	57	18.3	6.6	1.39	1.77	8.5	5.2	10.1
1983	58	16.9	6.4	1.51	1.80	8.6	5.2	9.3
1984	59	16.6	6.2	1.50	1.81	8.3	5.0	8.7
1985	60	15.4	6.1	1.39	1.76	8.1	4.8	8.0
1986	61	14.6	5.9	1.37	1.72	7.8	4.6	7.3
1987	62	13.7	5.7	1.30	1.69	7.6	4.4	6.9
1988	63	12.7	5.8	1.26	1.66	7.7	4.5	6.5
1989	平成 元 年	12.1	5.8	1.29	1.57	7.4	4.2	6.0
1990	2	11.1	5.9	1.28	1.54	7.5	4.2	5.7
1991	3	8.5	6.0	1.37	1.53	7.4	4.1	5.3
1992	4	8.1	6.1	1.45	1.50	7.4	4.0	5.2
1993	5	7.7	6.4	1.52	1.46	7.3	4.0	5.0
1994	6	7.5	6.3	1.57	1.50	7.1	3.8	5.0
1995	7	7.0	6.4	1.60	1.42	7.2	3.8	4.7
1996	8	6.7	6.4	1.66	1.43	6.8	3.6	4.4
1997	9	6.4	6.2	1.78	1.39	6.7	3.5	4.2
1998	10	6.2	6.3	1.94	1.38	6.6	3.4	4.1
1999	11	6.0	6.1	2.00	1.34	6.7	3.4	4.0
2000	12	5.8	6.4	2.10	1.36	6.3	3.2	3.8
2001	13	5.5	6.4	2.27	1.33	6.2	3.1	3.6
2002	14	5.5	6.0	2.30	1.32	6.0	3.0	3.7
2003	15	5.3	5.9	2.25	1.29	6.0	3.0	3.6
2004	16	5.0	5.7	2.15	1.29	5.9	3.0	3.3
2005	17	4.8	5.7	2.08	1.26	5.9	3.0	3.3
2006	18	4.7	5.8	2.04	1.32	5.7	2.9	3.1
2007	19	4.5	5.7	2.02	1.34	5.6	2.8	3.0
2008	20	4.3	5.8	1.99	1.37	5.6	2.8	2.9
2009	21	4.2	5.6	2.01	1.37	5.4	2.7	2.9
2010	22	4.2	5.5	1.99	1.39	5.4	2.7	2.9
2011	23	4.1	5.2	1.87	1.39	5.5	2.9	2.8
2012	* 24	4.0	5.3	1.87	1.41	2.7

第3表 出生数の年次推移，母の年齢（5歳階級）別

母の年齢	昭和60年	平成7年	17	21	22	23	*24
総数 ¹⁾	1 431 577	1 187 064	1 062 530	1 070 035	1 071 304	1 050 806	1 037 101
～14歳	23	37	42	67	51	44	59
15～19	17 854	16 075	16 531	14 620	13 495	13 274	12 711
20～24	247 341	193 514	128 135	116 808	110 956	104 059	95 803
25～29	682 885	492 714	339 328	307 765	306 910	300 384	292 440
30～34	381 466	371 773	404 700	389 793	384 385	373 490	367 651
35～39	93 501	100 053	153 440	209 706	220 101	221 272	225 443
40～44	8 224	12 472	19 750	30 566	34 609	37 437	42 028
45～49	244	414	564	684	773	802	928
50歳以上	1	-	34	20	19	41	32

注：*印は概数である。

1)総数には母の年齢不詳を含む。

第4表 出生数の年次推移，出生順位別

出生順位	昭和60年	平成7年	17	21	22	23	*24
総数	1 431 577	1 187 064	1 062 530	1 070 035	1 071 304	1 050 806	1 037 101
第1子	602 005	567 530	512 412	512 742	509 736	494 712	484 657
第2子	562 920	428 394	399 307	390 073	390 212	383 666	382 403
第3子以上	266 652	191 140	150 811	167 220	171 356	172 428	170 041

注：*印は概数である。

第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

総 数 (3-1)

年 齢	昭和60年	平成7年	17	21	22	23	* 24
総 数 ¹⁾	625.5	741.9	858.8	907.5	947.1	993.1	997.4
0～4歳	145.3	118.3	73.9	65.0	64.4	68.9	60.8
5～9	21.1	19.0	11.1	9.5	8.6	13.8	9.3
10～14	16.5	15.9	9.8	8.3	9.4	12.4	8.7
15～19	47.2	39.6	27.6	24.4	23.6	29.0	22.9
20～24	57.1	52.1	46.9	44.3	43.7	48.0	40.7
25～29	60.9	53.4	51.5	49.0	48.0	52.6	46.8
30～34	74.5	64.4	62.0	58.7	58.9	62.3	53.2
35～39	104.2	88.7	86.9	81.7	78.0	83.4	73.4
40～44	175.6	143.7	128.5	123.2	117.5	122.2	111.0
45～49	277.1	228.9	205.9	189.3	182.4	191.1	171.1
50～54	455.6	371.5	331.3	296.5	289.3	297.3	273.7
55～59	654.3	565.3	484.9	462.8	454.3	454.2	421.3
60～64	948.7	917.4	730.1	658.5	657.4	682.1	662.4
65～69	1 554.0	1 397.9	1 088.9	983.6	1 009.5	1 049.5	982.0
70～74	2 717.5	2 191.5	1 821.1	1 592.2	1 577.8	1 581.8	1 514.1
75～79	4 980.5	3 827.8	3 029.1	2 753.8	2 730.8	2 739.4	2 637.3
80～84	8 540.5	6 882.0	5 109.4	4 771.5	4 841.7	4 912.1	4 797.0
85～89	14 725.6	11 847.5	8 947.0	8 175.3	8 473.8	8 513.3	8 471.2
90～94 ²⁾	23 364.8	21 468.2	15 167.7	14 466.5	14 806.4	15 016.1	14 950.8
95～99	…	…	23 894.8	21 730.4	25 328.5	25 241.5	25 356.4
100歳以上	…	…	37 771.1	31 143.8	39 892.0	41 640.4	41 145.1

注：*印は概数である。

1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 昭和60年、平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。

第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

男 (3-2)

年 齢	昭和60年	平成7年	17	21	22	23	* 24
総 数 ¹⁾	690.6	822.9	949.4	992.9	1 029.2	1 068.4	1 068.8
0～4歳	158.8	129.0	80.6	70.9	69.6	69.6	62.8
5～9	26.6	22.6	13.5	10.1	9.2	14.5	10.7
10～14	19.9	18.8	11.8	9.3	11.6	14.7	10.2
15～19	69.8	55.4	36.4	32.3	30.4	36.6	30.0
20～24	81.4	73.1	62.4	59.5	60.8	62.9	57.0
25～29	80.7	73.3	70.1	63.7	66.2	67.0	62.4
30～34	93.3	81.7	80.5	76.3	76.0	78.2	68.1
35～39	131.9	113.5	113.1	104.6	98.8	102.6	93.5
40～44	227.7	183.8	169.3	160.1	151.3	153.1	141.0
45～49	371.7	295.2	275.6	248.1	238.2	239.9	221.1
50～54	624.6	498.6	448.1	400.6	384.5	391.4	358.3
55～59	906.7	784.7	675.9	649.8	631.5	615.5	577.2
60～64	1 314.9	1 311.6	1 046.2	945.6	934.9	960.1	945.7
65～69	2 159.4	2 002.8	1 559.7	1 425.0	1 460.9	1 513.1	1 418.5
70～74	3 707.7	3 154.7	2 637.3	2 294.4	2 270.9	2 263.2	2 174.2
75～79	6 581.0	5 461.1	4 401.7	4 002.0	3 959.4	3 939.6	3 792.1
80～84	10 799.1	9 484.5	7 328.5	6 855.8	7 046.3	7 067.4	6 885.5
85～89	18 136.2	15 648.6	12 638.9	11 423.9	12 030.9	11 956.1	11 849.5
90～94 ²⁾	25 429.3	26 734.7	20 217.3	19 206.3	20 252.2	20 409.5	20 197.0
95～99	…	…	30 937.2	27 045.0	31 876.6	31 778.0	32 343.3
100歳以上	…	…	46 157.9	34 142.9	48 813.8	50 600.0	45 642.9

注：*印は概数である。

1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 昭和60年、平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。

第5表 死亡率（人口10万対）の年次推移，性・年齢（5歳階級）別

女 (3-3)

年 齢	昭和60年	平成7年	17	21	22	23	* 24
総 数 ¹⁾	562.7	664.0	772.3	826.3	869.2	921.6	929.6
0～4歳	131.2	107.2	66.9	58.8	58.8	68.2	58.6
5～9	15.3	15.2	8.6	8.8	8.1	13.0	7.8
10～14	13.1	12.9	7.8	7.1	7.1	10.0	7.3
15～19	23.7	22.9	18.4	16.2	16.4	20.8	15.4
20～24	31.8	30.2	30.5	28.2	25.7	32.4	23.5
25～29	40.7	32.8	32.2	33.6	29.2	37.6	30.5
30～34	55.6	46.6	43.1	40.6	41.2	45.8	37.8
35～39	76.0	63.5	60.2	58.0	56.5	63.6	52.6
40～44	124.1	103.2	86.9	85.4	82.8	90.5	80.2
45～49	184.6	162.1	135.8	129.8	125.7	141.5	120.3
50～54	289.7	246.8	214.9	192.5	194.1	202.9	188.6
55～59	414.9	353.7	297.4	279.8	279.7	295.0	267.2
60～64	663.0	548.9	430.7	383.8	389.6	414.2	389.7
65～69	1 106.4	864.2	659.0	580.2	596.3	624.9	579.6
70～74	1 998.4	1 513.4	1 130.4	987.1	980.2	990.9	939.9
75～79	3 871.3	2 814.8	1 998.0	1 792.9	1 787.9	1 811.2	1 736.8
80～84	7 165.7	5 429.7	3 870.6	3 436.6	3 434.2	3 520.6	3 436.1
85～89	13 067.1	10 072.4	7 364.1	6 762.8	6 909.3	6 928.3	6 854.1
90～94 ²⁾	22 490.8	19 574.7	13 480.3	12 925.5	13 117.6	13 372.7	13 367.4
95～99	…	…	22 176.4	20 465.1	23 811.1	23 648.8	23 803.7
100歳以上	…	…	36 310.6	30 631.7	38 518.0	41 337.5	40 429.5

注：*印は概数である。

1) 総数には年齢不詳を含む。

2) 昭和60年、平成7年の90～94歳は90歳以上の数値である。

第6表 死亡数・死亡率（人口10万対），死因简单分類別

（4-1）

死因简单 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		*平成24年	平成23年	*平成24年	平成23年	*平成24年
	総 数	1 256 254	1 253 066	997.4	993.1	100.0
01000	感染症及び寄生虫症	26 616	26 357	21.1	20.9	2.1
01100	腸管感染症	2 708	2 319	2.1	1.8	0.2
01200	結 核	2 105	2 166	1.7	1.7	0.2
01201	呼吸器結核	1 853	1 908	1.5	1.5	0.1
01202	その他の結核	252	258	0.2	0.2	0.0
01300	敗 血 症	11 474	11 197	9.1	8.9	0.9
01400	ウイルス肝炎	5 238	5 576	4.2	4.4	0.4
01401	B型ウイルス肝炎	481	517	0.4	0.4	0.0
01402	C型ウイルス肝炎	4 482	4 737	3.6	3.8	0.4
01403	その他のウイルス肝炎	275	322	0.2	0.3	0.0
01500	ヒト免疫不全ウイルス〔H I V〕病	50	53	0.0	0.0	0.0
01600	その他の感染症及び寄生虫症	5 041	5 046	4.0	4.0	0.4
02000	新 生 物	371 725	367 791	295.1	291.5	29.6
02100	悪性新生物	360 790	357 305	286.4	283.2	28.7
02101	口唇，口腔及び咽頭の悪性新生物	7 163	6 888	5.7	5.5	0.6
02102	食道の悪性新生物	11 584	11 970	9.2	9.5	0.9
02103	胃の悪性新生物	49 100	49 830	39.0	39.5	3.9
02104	結腸の悪性新生物	32 157	31 050	25.5	24.6	2.6
02105	直腸S状結腸移行部及び 直腸の悪性新生物	15 094	14 694	12.0	11.6	1.2
02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物	30 680	31 875	24.4	25.3	2.4
02107	胆のう及び その他の胆道の悪性新生物	18 197	18 186	14.4	14.4	1.4
02108	膵の悪性新生物	29 888	28 829	23.7	22.8	2.4
02109	喉頭の悪性新生物	952	954	0.8	0.8	0.1
02110	気管，気管支及び肺の悪性新生物	71 504	70 293	56.8	55.7	5.7
02111	皮膚の悪性新生物	1 557	1 453	1.2	1.2	0.1
02112	乳房の悪性新生物	12 611	12 838	10.0	10.2	1.0
02113	子宮の悪性新生物 ¹⁾	6 110	6 075	9.5	9.4	0.5
02114	卵巣の悪性新生物 ¹⁾	4 687	4 705	7.3	7.3	0.4
02115	前立腺の悪性新生物 ²⁾	11 137	10 823	18.2	17.6	0.9
02116	膀胱の悪性新生物	7 297	7 008	5.8	5.6	0.6

注：*印は概数である。

1) 女性人口10万に対する率である。

2) 男性人口10万に対する率である。

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		*平成24年	平成23年	*平成24年	平成23年	*平成24年
02117	中枢神経系の悪性新生物	2 199	2 144	1.7	1.7	0.2
02118	悪性リンパ腫	10 826	10 336	8.6	8.2	0.9
02119	白血 病	7 896	8 156	6.3	6.5	0.6
02120	その他のリンパ組織, 造血組織及び 関連組織の悪性新生物	4 119	4 120	3.3	3.3	0.3
02121	その他の悪性新生物	26 032	25 078	20.7	19.9	2.1
02200	その他の新生物	10 935	10 486	8.7	8.3	0.9
02201	中枢神経系のその他の新生物	2 641	2 729	2.1	2.2	0.2
02202	中枢神経系を除くその他の新生物	8 294	7 757	6.6	6.1	0.7
03000	血液及び造血器の疾患並びに 免疫機構の障害	4 446	4 382	3.5	3.5	0.4
03100	貧 血	1 918	1 798	1.5	1.4	0.2
03200	その他の血液及び造血器の疾患 並びに免疫機構の障害	2 528	2 584	2.0	2.0	0.2
04000	内分泌, 栄養及び代謝疾患	22 111	22 133	17.6	17.5	1.8
04100	糖 尿 病	14 452	14 664	11.5	11.6	1.2
04200	その他の内分泌, 栄養及び代謝疾患	7 659	7 469	6.1	5.9	0.6
05000	精神及び行動の障害	10 744	9 508	8.5	7.5	0.9
05100	血管性及び詳細不明の認知症	8 868	7 742	7.0	6.1	0.7
05200	その他の精神及び行動の障害	1 876	1 766	1.5	1.4	0.1
06000	神経系の疾患	24 333	21 998	19.3	17.4	1.9
06100	髄 膜 炎	320	322	0.3	0.3	0.0
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	2 161	2 084	1.7	1.7	0.2
06300	パーキンソン病	6 076	5 701	4.8	4.5	0.5
06400	アルツハイマー病	6 862	5 399	5.4	4.3	0.5
06500	その他の神経系の疾患	8 914	8 492	7.1	6.7	0.7
07000	眼及び付属器の疾患	2	13	0.0	0.0	0.0
08000	耳及び乳様突起の疾患	12	15	0.0	0.0	0.0
09000	循環器系の疾患	350 524	348 836	278.3	276.5	27.9
09100	高血圧性疾患	7 254	7 023	5.8	5.6	0.6
09101	高血圧性心疾患及び心腎疾患	3 813	3 649	3.0	2.9	0.3
09102	その他の高血圧性疾患	3 441	3 374	2.7	2.7	0.3
09200	心疾患 (高血圧性を除く)	198 622	194 926	157.7	154.5	15.8
09201	慢性リウマチ性心疾患	2 489	2 422	2.0	1.9	0.2
09202	急性心筋梗塞	42 067	43 265	33.4	34.3	3.3
09203	その他の虚血性心疾患	35 398	34 576	28.1	27.4	2.8
09204	慢性非リウマチ性心内膜疾患	9 903	9 437	7.9	7.5	0.8

第6表 死亡数・死亡率（人口10万対），死因简单分類別

（4-3）

死因简单 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		*平成24年	平成23年	*平成24年	平成23年	
09205	心筋症	3 732	3 692	3.0	2.9	0.3
09206	不整脈及び伝導障害	28 357	27 346	22.5	21.7	2.3
09207	心不全	71 558	69 368	56.8	55.0	5.7
09208	その他の心疾患	5 118	4 820	4.1	3.8	0.4
09300	脳血管疾患	121 505	123 867	96.5	98.2	9.7
09301	くも膜下出血	12 991	13 460	10.3	10.7	1.0
09302	脳内出血	33 587	34 062	26.7	27.0	2.7
09303	脳梗塞	71 898	73 273	57.1	58.1	5.7
09304	その他の脳血管疾患	3 029	3 072	2.4	2.4	0.2
09400	大動脈瘤及び解離	15 799	15 599	12.5	12.4	1.3
09500	その他の循環器系疾患	7 344	7 421	5.8	5.9	0.6
10000	呼吸器系の疾患	201 557	198 395	160.0	157.2	16.0
10100	インフルエンザ	1 274	574	1.0	0.5	0.1
10200	肺炎	123 818	124 749	98.3	98.9	9.9
10300	急性気管支炎	562	575	0.4	0.5	0.0
10400	慢性閉塞性肺疾患	16 371	16 639	13.0	13.2	1.3
10500	喘息	1 870	2 060	1.5	1.6	0.1
10600	その他の呼吸器系の疾患	57 662	53 798	45.8	42.6	4.6
11000	消化器系の疾患	47 099	46 755	37.4	37.1	3.7
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	3 105	3 110	2.5	2.5	0.2
11200	ヘルニア及び腸閉塞	6 612	6 442	5.2	5.1	0.5
11300	肝疾患	15 944	16 390	12.7	13.0	1.3
11301	肝硬変（アルコール性を除く）	8 149	8 511	6.5	6.7	0.6
11302	その他の肝疾患	7 795	7 879	6.2	6.2	0.6
11400	その他の消化器系の疾患	21 438	20 813	17.0	16.5	1.7
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	1 512	1 468	1.2	1.2	0.1
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	5 736	5 775	4.6	4.6	0.5
14000	腎尿路生殖器系の疾患	35 725	34 707	28.4	27.5	2.8
14100	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	4 151	4 072	3.3	3.2	0.3
14200	腎不全	25 061	24 526	19.9	19.4	2.0
14201	急性腎不全	3 881	4 077	3.1	3.2	0.3
14202	慢性腎不全	15 468	15 085	12.3	12.0	1.2
14203	詳細不明の腎不全	5 712	5 364	4.5	4.3	0.5
14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	6 513	6 109	5.2	4.8	0.5

死因簡単 分類コード	死 因	死 亡 数		死 亡 率		死亡総数 に占める 割合(%)
		*平成24年	平成23年	*平成24年	平成23年	
15000	妊娠, 分娩及び産じょく ¹⁾	50	43	0.1	0.1	0.0
16000	周産期に発生した病態	601	637	0.5	0.5	0.0
16100	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	59	71	0.0	0.1	0.0
16200	出産外傷	8	3	0.0	0.0	0.0
16300	周産期に特異的な呼吸障害 及び心血管障害	326	328	0.3	0.3	0.0
16400	周産期に特異的な感染症	37	49	0.0	0.0	0.0
16500	胎児及び新生児の出血性障害 及び血液障害	81	86	0.1	0.1	0.0
16600	その他の周産期に発生した病態	90	100	0.1	0.1	0.0
17000	先天奇形, 変形及び染色体異常	2 027	2 102	1.6	1.7	0.2
17100	神経系の先天奇形	96	102	0.1	0.1	0.0
17200	循環器系の先天奇形	996	1 079	0.8	0.9	0.1
17201	心臓の先天奇形	726	785	0.6	0.6	0.1
17202	その他の循環器系の先天奇形	270	294	0.2	0.2	0.0
17300	消化器系の先天奇形	114	98	0.1	0.1	0.0
17400	その他の先天奇形及び変形	501	528	0.4	0.4	0.0
17500	染色体異常, 他に分類されないもの	320	295	0.3	0.2	0.0
18000	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査 所見で他に分類されないもの	78 251	68 037	62.1	53.9	6.2
18100	老 衰	60 669	52 242	48.2	41.4	4.8
18200	乳幼児突然死症候群	149	148	0.1	0.1	0.0
18300	その他の症状, 徴候及び異常臨床所見 ・異常検査所見で他に分類されないもの	17 433	15 647	13.8	12.4	1.4
20000	傷病及び死亡の外因	73 183	94 114	58.1	74.6	5.8
20100	不慮の事故	40 857	59 416	32.4	47.1	3.3
20101	交通事故	6 329	6 741	5.0	5.3	0.5
20102	転倒・転落	7 253	7 686	5.8	6.1	0.6
20103	不慮の溺死及び溺水	7 945	7 356	6.3	5.8	0.6
20104	不慮の窒息	10 197	9 878	8.1	7.8	0.8
20105	煙, 火及び火炎への曝露	1 386	1 434	1.1	1.1	0.1
20106	有害物質による不慮の中毒及び 有害物質への曝露	757	942	0.6	0.7	0.1
20107	その他の不慮の事故	6 990	25 379	5.5	20.1	0.6
20200	自 殺	26 400	28 896	21.0	22.9	2.1
20300	他 殺	382	415	0.3	0.3	0.0
20400	その他の外因	5 544	5 387	4.4	4.3	0.4
22000	特殊目的用コード	-	-	-	-	-
22100	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	-	-	-	-	-

第7表 死因順位¹⁾ (1～5位) 別死亡数・死亡率 (人口10万対) , 性・

総数 (3-1)

年 齢	第1位			第2位			第3位		
	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率
総数 ²⁾	悪性新生物	360 790	286.4	心 疾 患	198 622	157.7	肺 炎	123 818	98.3
0歳 ³⁾	先天奇形等	807	77.8	呼吸障害等	313	30.2	乳幼児突然死症候群	141	13.6
1～4	先天奇形等	177	4.2	不慮の事故	123	2.9	悪性新生物	101	2.4
5～9	不慮の事故	102	1.9	悪性新生物	84	1.6	先天奇形等	35	0.7
10～14	悪性新生物	110	1.9	不慮の事故	94	1.6	自 殺	75	1.3
15～19	自 殺	509	8.5	不慮の事故	340	5.7	悪性新生物	165	2.8
20～24	自 殺	1 277	21.0	不慮の事故	427	7.0	悪性新生物	172	2.8
25～29	自 殺	1 587	23.2	不慮の事故	418	6.1	悪性新生物	333	4.9
30～34	自 殺	1 586	20.7	悪性新生物	685	9.0	不慮の事故	470	6.1
35～39	自 殺	1 993	21.5	悪性新生物	1 535	16.6	心 疾 患	681	7.3
40～44	悪性新生物	2 994	32.1	自 殺	2 162	23.2	心 疾 患	1 234	13.2
45～49	悪性新生物	4 570	56.5	自 殺	2 214	27.4	心 疾 患	1 756	21.7
50～54	悪性新生物	8 186	107.9	心 疾 患	2 560	33.7	自 殺	2 272	29.9
55～59	悪性新生物	15 145	192.1	心 疾 患	4 093	51.9	脳血管疾患	2 628	33.3
60～64	悪性新生物	32 858	322.5	心 疾 患	8 339	81.9	脳血管疾患	4 978	48.9
65～69	悪性新生物	38 538	472.2	心 疾 患	10 069	123.4	脳血管疾患	6 116	74.9
70～74	悪性新生物	48 753	662.0	心 疾 患	14 423	195.9	脳血管疾患	9 200	124.9
75～79	悪性新生物	60 595	972.5	心 疾 患	23 355	374.8	脳血管疾患	15 454	248.0
80～84	悪性新生物	64 257	1 391.4	心 疾 患	35 016	758.3	肺 炎	24 347	527.2
85～89	悪性新生物	49 315	1 778.4	心 疾 患	41 877	1 510.2	肺 炎	31 719	1 143.9
90～94	心 疾 患	33 720	2 950.1	肺 炎	24 870	2 175.9	悪性新生物	23 951	2 095.5
95～99	心 疾 患	16 814	5 095.2	老 衰	15 672	4 749.1	肺 炎	12 527	3 796.1
100歳以上	老 衰	6 623	12 986.3	心 疾 患	3 770	7 392.2	肺 炎	2 941	5 766.7

注：1) [1] 乳児（0歳）の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。

[2] 死因名は次のように略称した。

心疾患←心疾患（高血圧性を除く）

先天奇形等←先天奇形，変形及び染色体異常

呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害

出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害

2) 総数には年齢不詳を含む。

3) 0歳の死亡率は出生10万に対する率である。

年齢（5歳階級）別

平成24年

第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	
脳血管疾患	121 505	96.5	老 衰	60 669	48.2	総 数 ²⁾
不慮の事故	93	9.0	出血性障害等	81	7.8	0 歳 ³⁾
心 疾 患	60	1.4	肺 炎	48	1.1	1～ 4
その他の新生物	32	0.6	肺 炎	28	0.5	5～ 9
心 疾 患	25	0.4	脳血管疾患	18	0.3	10～14
心 疾 患	60	1.0	先天奇形等	27	0.5	15～19
心 疾 患	111	1.8	脳血管疾患	32	0.5	20～24
心 疾 患	184	2.7	脳血管疾患	62	0.9	25～29
心 疾 患	345	4.5	脳血管疾患	154	2.0	30～34
不慮の事故	600	6.5	脳血管疾患	422	4.6	35～39
脳血管疾患	807	8.7	不慮の事故	726	7.8	40～44
脳血管疾患	1 168	14.5	不慮の事故	787	9.7	45～49
脳血管疾患	1 713	22.6	不慮の事故	1 013	13.4	50～54
自 殺	2 150	27.3	不慮の事故	1 357	17.2	55～59
自 殺	2 602	25.5	不慮の事故	2 322	22.8	60～64
肺 炎	3 255	39.9	不慮の事故	2 687	32.9	65～69
肺 炎	6 628	90.0	不慮の事故	3 771	51.2	70～74
肺 炎	13 554	217.5	不慮の事故	5 589	89.7	75～79
脳血管疾患	22 914	496.2	不慮の事故	7 172	155.3	80～84
脳血管疾患	26 000	937.6	老 衰	12 450	449.0	85～89
脳血管疾患	19 189	1 678.8	老 衰	18 796	1 644.4	90～94
脳血管疾患	8 782	2 661.2	悪性新生物	7 367	2 232.4	95～99
脳血管疾患	1 814	3 556.9	悪性新生物	1 037	2 033.3	100歳以上

第7表 死因順位¹⁾ (1～5位) 別死亡数・死亡率 (人口10万対) , 性・

男 (3-2)

年 齢	第1位			第2位			第3位		
	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率
総数 ²⁾	悪性新生物	215 011	350.6	心 疾 患	92 860	151.4	肺 炎	66 329	108.2
0歳 ³⁾	先天奇形等	390	73.3	呼吸障害等	165	31.0	乳幼児突然死症候群	88	16.6
1～4	先天奇形等	86	4.0	不慮の事故	80	3.7	悪性新生物	51	2.4
5～9	不慮の事故	72	2.6	悪性新生物	51	1.9	肺 炎	17	0.6
10～14	不慮の事故	66	2.2	悪性新生物	59	2.0	自 殺	55	1.8
15～19	自 殺	345	11.2	不慮の事故	261	8.5	悪性新生物	98	3.2
20～24	自 殺	947	30.4	不慮の事故	349	11.2	悪性新生物	103	3.3
25～29	自 殺	1 137	32.5	不慮の事故	312	8.9	悪性新生物	168	4.8
30～34	自 殺	1 107	28.5	不慮の事故	351	9.0	悪性新生物	305	7.8
35～39	自 殺	1 453	30.8	悪性新生物	636	13.5	心 疾 患	540	11.5
40～44	自 殺	1 607	34.0	悪性新生物	1 268	26.8	心 疾 患	977	20.7
45～49	悪性新生物	2 122	52.0	自 殺	1 677	41.1	心 疾 患	1 366	33.5
50～54	悪性新生物	4 280	112.6	心 疾 患	2 048	53.9	自 殺	1 667	43.8
55～59	悪性新生物	8 971	229.0	心 疾 患	3 303	84.3	脳血管疾患	1 865	47.6
60～64	悪性新生物	21 621	432.7	心 疾 患	6 488	129.8	脳血管疾患	3 552	71.1
65～69	悪性新生物	26 213	669.7	心 疾 患	7 362	188.1	脳血管疾患	4 158	106.2
70～74	悪性新生物	32 873	959.5	心 疾 患	9 521	277.9	脳血管疾患	6 114	178.5
75～79	悪性新生物	39 829	1 458.9	心 疾 患	13 641	499.7	脳血管疾患	9 600	351.6
80～84	悪性新生物	39 247	2 154.1	心 疾 患	17 633	967.8	肺 炎	15 515	851.5
85～89	悪性新生物	25 232	2 806.7	肺 炎	16 827	1 871.7	心 疾 患	16 449	1 829.7
90～94	肺 炎	9 615	3 628.3	悪性新生物	9 314	3 514.7	心 疾 患	8 994	3 394.0
95～99	肺 炎	3 815	6 358.3	心 疾 患	3 389	5 648.3	老 衰	2 698	4 496.7
100歳以上	老 衰	846	12 085.7	肺 炎	621	8 871.4	心 疾 患	499	7 128.6

注：1) [1] 乳児（0歳）の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。

[2] 死因名は次のように略称した。

心疾患←心疾患（高血圧性を除く）

先天奇形等←先天奇形，変形及び染色体異常

呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害

出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害

2) 総数には年齢不詳を含む。

3) 0歳の死亡率は出生10万に対する率である。

年齢（5歳階級）別

平成24年

第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	
脳血管疾患	58 570	95.5	不慮の事故	23 625	38.5	総数 ²⁾
不慮の事故	59	11.1	出血性障害等	53	10.0	0歳 ³⁾
心疾患	26	1.2	肺炎	20	0.9	1～4
先天奇形等	15	0.5	その他の新生物	13	0.5	5～9
肺炎	14	0.5	心疾患	12	0.4	10～14
心疾患	38	1.2	先天奇形等	19	0.6	15～19
心疾患	83	2.7	肺炎	20	0.6	20～24
心疾患	138	3.9	脳血管疾患	35	1.0	25～29
心疾患	267	6.9	脳血管疾患	100	2.6	30～34
不慮の事故	486	10.3	脳血管疾患	287	6.1	35～39
脳血管疾患	576	12.2	不慮の事故	550	11.6	40～44
脳血管疾患	821	20.1	不慮の事故	597	14.6	45～49
脳血管疾患	1 170	30.8	肝疾患	780	20.5	50～54
自殺	1 618	41.3	不慮の事故	1 024	26.1	55～59
自殺	1 870	37.4	不慮の事故	1 718	34.4	60～64
肺炎	2 505	64.0	不慮の事故	1 821	46.5	65～69
肺炎	4 939	144.2	不慮の事故	2 447	71.4	70～74
肺炎	9 512	348.4	不慮の事故	3 377	123.7	75～79
脳血管疾患	12 312	675.7	不慮の事故	4 050	222.3	80～84
脳血管疾患	10 748	1 195.6	老 衰	3 833	426.4	85～89
脳血管疾患	5 218	1 969.1	老 衰	4 117	1 553.6	90～94
悪性新生物	2 302	3 836.7	脳血管疾患	1 737	2 895.0	95～99
悪性新生物	245	3 500.0	脳血管疾患	219	3 128.6	100歳以上

第7表 死因順位¹⁾ (1～5位) 別死亡数・死亡率 (人口10万対) , 性・

女 (3-3)

年 齢	第1位			第2位			第3位		
	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率
総 数 ²⁾	悪 性 新 生 物	145 779	225.6	心 疾 患	105 762	163.6	脳 血 管 疾 患	62 935	97.4
0 歳 ³⁾	先 天 奇 形 等	417	82.5	呼 吸 障 害 等	148	29.3	乳 幼 児 突 然 死 症 候 群	53	10.5
1～4	先 天 奇 形 等	91	4.4	悪 性 新 生 物	50	2.4	不 慮 の 事 故	43	2.1
5～9	悪 性 新 生 物	33	1.3	不 慮 の 事 故	30	1.1	先 天 奇 形 等	20	0.8
10～14	悪 性 新 生 物	51	1.8	不 慮 の 事 故	28	1.0	自 殺	20	0.7
15～19	自 殺	164	5.6	不 慮 の 事 故	79	2.7	悪 性 新 生 物	67	2.3
20～24	自 殺	330	11.1	不 慮 の 事 故	78	2.6	悪 性 新 生 物	69	2.3
25～29	自 殺	450	13.4	悪 性 新 生 物	165	4.9	不 慮 の 事 故	106	3.2
30～34	自 殺	479	12.8	悪 性 新 生 物	380	10.1	不 慮 の 事 故	119	3.2
35～39	悪 性 新 生 物	899	19.7	自 殺	540	11.9	心 疾 患	141	3.1
40～44	悪 性 新 生 物	1 726	37.6	自 殺	555	12.1	心 疾 患	257	5.6
45～49	悪 性 新 生 物	2 448	61.1	自 殺	537	13.4	心 疾 患	390	9.7
50～54	悪 性 新 生 物	3 906	103.2	自 殺	605	16.0	脳 血 管 疾 患	543	14.3
55～59	悪 性 新 生 物	6 174	155.7	心 疾 患	790	19.9	脳 血 管 疾 患	763	19.2
60～64	悪 性 新 生 物	11 237	216.5	心 疾 患	1 851	35.7	脳 血 管 疾 患	1 426	27.5
65～69	悪 性 新 生 物	12 325	290.2	心 疾 患	2 707	63.7	脳 血 管 疾 患	1 958	46.1
70～74	悪 性 新 生 物	15 880	403.3	心 疾 患	4 902	124.5	脳 血 管 疾 患	3 086	78.4
75～79	悪 性 新 生 物	20 766	593.1	心 疾 患	9 714	277.5	脳 血 管 疾 患	5 854	167.2
80～84	悪 性 新 生 物	25 010	894.5	心 疾 患	17 383	621.7	脳 血 管 疾 患	10 602	379.2
85～89	心 疾 患	25 428	1 357.6	悪 性 新 生 物	24 083	1 285.8	脳 血 管 疾 患	15 252	814.3
90～94	心 疾 患	24 726	2 816.2	肺 炎	15 255	1 737.5	老 衰	14 679	1 671.9
95～99	心 疾 患	13 425	4 972.2	老 衰	12 974	4 805.2	肺 炎	8 712	3 226.7
100歳以上	老 衰	5 777	13 129.5	心 疾 患	3 271	7 434.1	肺 炎	2 320	5 272.7

注：1) [1] 乳児（0歳）の死因については乳児死因順位に用いる分類項目を使用している。

[2] 死因名は次のように略称した。

心疾患←心疾患（高血圧性を除く）

先天奇形等←先天奇形，変形及び染色体異常

呼吸障害等←周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害

出血性障害等←胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害

胎児発育障害←妊娠期間及び胎児発育に関連する障害

2) 総数には年齢不詳を含む。

3) 0歳の死亡率は出生10万に対する率である。

年齢（5歳階級）別

平成24年

第4位			第5位			年 齢
死 因	死亡数	死亡率	死 因	死亡数	死亡率	
肺 炎	57 489	89.0	老 衰	45 955	71.1	総 数 ²⁾
胎児発育障害	35	6.9	不慮の事故	34	6.7	0歳 ³⁾
心疾患	34	1.7	肺 炎	28	1.4	1～4
その他の新生物	19	0.7	心疾患	12	0.5	5～9
心疾患	13	0.5	脳血管疾患	12	0.4	10～14
心疾患	22	0.8	脳血管疾患	13	0.4	15～19
心疾患	28	0.9	その他の新生物	13	0.4	20～24
心疾患	46	1.4	脳血管疾患	27	0.8	25～29
心疾患	78	2.1	脳血管疾患	54	1.4	30～34
脳血管疾患	135	3.0	不慮の事故	114	2.5	35～39
脳血管疾患	231	5.0	不慮の事故	176	3.8	40～44
脳血管疾患	347	8.7	不慮の事故	190	4.7	45～49
心疾患	512	13.5	不慮の事故	245	6.5	50～54
自殺	532	13.4	不慮の事故	333	8.4	55～59
自殺	732	14.1	不慮の事故	604	11.6	60～64
不慮の事故	866	20.4	肺 炎	750	17.7	65～69
肺 炎	1 689	42.9	不慮の事故	1 324	33.6	70～74
肺 炎	4 042	115.5	不慮の事故	2 212	63.2	75～79
肺 炎	8 832	315.9	不慮の事故	3 122	111.7	80～84
肺 炎	14 892	795.1	老 衰	8 617	460.1	85～89
悪性新生物	14 637	1 667.1	脳血管疾患	13 971	1 591.2	90～94
脳血管疾患	7 045	2 609.3	悪性新生物	5 065	1 875.9	95～99
脳血管疾患	1 595	3 625.0	悪性新生物	792	1 800.0	100歳以上

第8表 人口動態総覧，都道府県（21大都市再掲）別

都道府県 ¹⁾ (21大都市)	出生数			死亡数			(再掲)			新生児 死亡数
	総数	男	女	総数	男	女	乳児死亡数			
							総数	男	女	
全 国	1 037 101	531 719	505 382	1 256 254	655 468	600 786	2 298	1 222	1 076	1 064
北海道	38 684	19 750	18 934	58 068	30 836	27 232	88	50	38	43
青森	9 168	4 771	4 397	17 295	8 954	8 341	24	12	12	15
岩手	9 276	4 776	4 500	16 072	8 269	7 803	27	12	15	14
宮城	18 707	9 527	9 180	22 101	11 475	10 626	42	23	19	19
秋田	6 543	3 281	3 262	14 856	7 485	7 371	11	2	9	6
山形	8 212	4 206	4 006	14 752	7 417	7 335	23	14	9	16
福島	13 770	7 075	6 695	23 420	12 081	11 339	30	17	13	13
茨城	22 896	11 590	11 306	30 010	15 690	14 320	61	34	27	25
栃木	15 973	8 217	7 756	20 783	10 851	9 932	38	22	16	16
群馬	14 914	7 569	7 345	21 168	11 061	10 107	45	23	22	23
埼玉	56 942	29 154	27 788	59 140	32 443	26 697	114	56	58	50
千葉	48 881	25 169	23 712	53 197	28 927	24 270	135	65	70	64
東京都	107 402	54 986	52 416	109 180	58 190	50 990	236	129	107	117
神奈川	75 476	38 710	36 766	71 993	39 447	32 546	174	101	73	91
新潟	17 476	8 914	8 562	28 081	14 387	13 694	20	10	10	11
富山	7 880	4 077	3 803	12 755	6 504	6 251	17	13	4	8
石川	9 544	4 846	4 698	12 223	6 203	6 020	19	11	8	13
福井	6 712	3 452	3 260	8 795	4 427	4 368	14	9	5	9
山梨	6 336	3 193	3 143	9 555	4 826	4 729	13	7	6	4
長野	16 661	8 538	8 123	24 476	12 470	12 006	31	12	19	14
岐阜	16 496	8 372	8 124	21 531	11 126	10 405	27	15	12	13
静岡県	30 810	15 865	14 945	38 193	19 940	18 253	58	22	36	28
愛知	67 909	35 013	32 896	61 354	32 903	28 451	142	76	66	55
三重	14 729	7 492	7 237	19 209	9 933	9 276	48	21	27	15
滋賀	13 236	6 720	6 516	12 222	6 132	6 090	29	15	14	15
京都	20 112	10 442	9 670	25 411	12 824	12 587	39	20	19	23
大阪	72 890	37 359	35 531	80 368	42 950	37 418	154	97	57	62
兵庫	46 435	23 853	22 582	53 656	27 858	25 798	79	47	32	20
奈良	10 565	5 405	5 160	13 657	7 021	6 636	25	14	11	7
和歌山	7 423	3 778	3 645	12 435	6 290	6 145	15	7	8	9
鳥取	4 771	2 402	2 369	7 074	3 492	3 582	9	3	6	7
島根	5 585	2 975	2 610	9 513	4 704	4 809	11	7	4	6
岡山	16 279	8 378	7 901	21 180	10 660	10 520	38	21	17	16
広島	24 846	12 723	12 123	29 273	15 008	14 265	57	26	31	26
山口	10 797	5 539	5 258	18 230	9 076	9 154	26	19	7	10
徳島	5 744	2 966	2 778	9 782	4 901	4 881	25	11	14	11
香川	8 161	4 162	3 999	11 368	5 696	5 672	15	9	6	8
愛媛	11 130	5 699	5 431	17 216	8 627	8 589	28	12	16	18
高知	5 266	2 671	2 595	10 142	5 096	5 046	13	5	8	8
福岡	45 815	23 560	22 255	48 955	24 727	24 228	94	50	44	47
佐賀	7 440	3 817	3 623	9 676	4 929	4 747	12	5	7	4
長崎	11 723	5 983	5 740	16 785	8 327	8 458	27	12	15	18
熊本	15 996	8 316	7 680	20 565	10 304	10 261	39	18	21	16
大宮	9 650	5 038	4 612	14 050	6 986	7 064	24	13	11	9
大崎	9 858	5 006	4 852	13 052	6 569	6 483	27	12	15	12
鹿島	14 841	7 595	7 246	21 282	10 519	10 763	28	13	15	13
沖繩	17 074	8 749	8 325	10 626	5 637	4 989	46	30	16	16
外国	67	40	27	168	135	33	-	-	-	-
不詳	.	.	.	1 361	1 155	206	1	-	1	1
(再掲)										
東京都区部	74 591	38 084	36 507	74 644	39 964	34 680	163	83	80	82
札幌市	14 487	7 415	7 072	16 228	8 666	7 562	34	18	16	13
仙台市	9 441	4 790	4 651	7 843	4 219	3 624	14	8	6	2
さいたま市	10 536	5 524	5 012	9 361	5 096	4 265	22	14	8	6
千葉市	7 707	3 919	3 788	7 400	4 163	3 237	24	11	13	13
横浜市	30 959	15 843	15 116	28 930	15 883	13 047	80	51	29	43
川崎市	14 257	7 405	6 852	9 714	5 500	4 214	30	14	16	16
相模原市	5 769	2 922	2 847	5 165	2 874	2 291	9	4	5	4
新潟市	6 369	3 265	3 104	8 027	4 188	3 839	10	3	7	6
静岡市	5 428	2 803	2 625	7 415	3 835	3 580	6	3	3	3
浜松市	7 137	3 642	3 495	7 570	3 900	3 670	19	5	14	11
名古屋市	19 609	10 067	9 542	19 681	10 579	9 102	43	21	22	14
京都市	11 050	5 748	5 302	13 979	6 912	7 067	19	10	9	12
大阪市	22 763	11 730	11 033	27 057	14 728	12 329	59	32	27	22
堺市	7 209	3 700	3 509	7 626	4 071	3 555	13	9	4	5
神戸市	12 357	6 336	6 021	14 754	7 696	7 058	19	10	9	4
岡山市	6 609	3 399	3 210	6 414	3 257	3 157	15	8	7	5
広島市	11 262	5 775	5 487	9 415	4 801	4 614	20	11	9	11
北九州市	8 213	4 175	4 038	10 389	5 316	5 073	24	11	13	8
福岡市	14 453	7 470	6 983	10 707	5 517	5 190	20	10	10	11
熊本市 ²⁾	5 416	2 857	2 559	4 662	2 370	2 292	17	10	7	7

注：1) 都道府県別の表章は出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

2) 熊本市は平成24年4月1日から政令指定都市となったため、4月分からの累計である。

自 然 増 減 数	死 産 数			周 産 期 死 亡 数			婚 姻 件 数	離 婚 件 数	都 道 府 県 ¹⁾ (21大都市)
	総 数	自然死産	人工死産	総 数	妊娠満22週 以後の死産	早期新生児 死亡			
△ 219 153	24 804	11 444	13 360	4 134	3 345	789	668 788	235 394	全 国
△ 19 384	1 178	472	706	160	130	30	26 540	11 594	北 海 道
△ 8 127	261	119	142	38	24	14	5 846	2 408	青 森 県
△ 6 796	263	144	119	56	46	10	5 629	1 976	岩 手 県
△ 3 394	487	222	265	71	58	13	12 315	3 957	宮 城 県
△ 8 313	170	81	89	27	21	6	4 020	1 495	秋 田 県
△ 6 540	216	90	126	40	29	11	4 881	1 687	山 形 県
△ 9 650	388	212	176	63	56	7	9 285	3 211	福 島 県
△ 7 114	577	273	304	109	90	19	14 477	5 261	茨 城 県
△ 4 810	382	170	212	65	55	10	10 225	3 688	栃 木 県
△ 6 254	387	172	215	72	51	21	9 246	3 520	群 馬 県
△ 2 198	1 390	689	701	249	207	42	36 775	13 433	埼 玉 県
△ 4 316	1 153	556	597	216	165	51	32 150	11 521	千 葉 県
△ 1 778	2 326	1 102	1 224	401	315	86	89 300	25 328	東 京 都
△ 3 483	1 589	777	812	304	234	70	51 529	16 812	神 奈 川 県
△ 10 605	406	195	211	68	59	9	10 219	3 222	新 潟 県
△ 4 875	199	114	85	39	32	7	4 871	1 548	富 山 県
△ 2 679	190	111	79	36	28	8	5 708	1 765	石 川 県
△ 2 083	169	80	89	31	24	7	3 634	1 240	福 井 県
△ 3 219	148	61	87	23	20	3	3 923	1 591	山 梨 県
△ 7 815	381	181	200	61	49	12	9 948	3 540	長 野 県
△ 5 035	354	176	178	68	58	10	9 521	3 306	岐 阜 県
△ 7 383	647	316	331	104	86	18	19 321	6 878	静 岡 県
△ 6 555	1 435	679	756	263	225	38	42 704	13 493	愛 知 県
△ 4 480	319	153	166	62	50	12	9 006	3 237	三 重 県
△ 1 014	236	118	118	51	41	10	7 389	2 346	滋 賀 県
△ 5 299	464	207	257	76	60	16	13 188	4 646	京 都 府
△ 7 478	1 722	774	948	289	241	48	48 046	18 750	大 阪 府
△ 7 221	1 066	518	548	156	142	14	28 232	10 264	兵 庫 県
△ 3 092	269	123	146	35	31	4	6 222	2 390	和 歌 山 県
△ 5 012	159	64	95	30	22	8	4 664	1 959	和 歌 山 県
△ 2 303	115	49	66	25	19	6	2 759	1 065	鳥 取 県
△ 3 928	138	57	81	19	14	5	3 114	1 014	島 根 県
△ 4 901	357	140	217	57	45	12	9 570	3 518	岡 山 県
△ 4 427	526	260	266	100	81	19	14 667	5 074	広 島 県
△ 7 433	264	124	140	36	27	9	6 547	2 390	山 口 県
△ 4 038	143	65	78	25	18	7	3 370	1 254	徳 島 県
△ 3 207	165	91	74	41	33	8	4 789	1 887	香 川 県
△ 6 086	291	107	184	41	31	10	6 384	2 529	愛 媛 県
△ 4 876	154	58	96	24	19	5	3 257	1 403	高 知 県
△ 3 140	1 251	540	711	194	158	36	27 973	10 542	福 岡 県
△ 2 236	175	82	93	18	14	4	4 003	1 471	佐 賀 県
△ 5 062	328	146	182	47	38	9	6 335	2 450	長 崎 県
△ 4 569	436	149	287	49	39	10	8 965	3 376	熊 本 県
△ 4 400	269	96	173	36	31	5	5 652	2 187	大 分 県
△ 3 194	321	121	200	30	22	8	5 667	2 421	宮 崎 県
△ 6 441	419	160	259	51	41	10	8 080	3 113	鹿 児 島 県
△ 6 448	507	244	263	73	62	11	8 842	3 634	沖 縄 県
△ 101	10	4	6	2	2	-	.	.	外 国
.	4	2	2	3	2	1	.	.	不 詳
△ 53	1 654	785	869	286	225	61	67 518	18 209	(再 掲) 東 京 都 区 部
△ 1 741	446	178	268	67	56	11	10 861	4 555	札 幌 市
△ 1 598	228	96	132	31	30	1	6 584	1 848	仙 台 市
△ 1 175	219	90	129	29	24	5	6 902	2 162	さい たま 市
△ 307	193	110	83	35	24	11	4 949	1 776	千 葉 市
△ 2 029	623	328	295	138	102	36	20 990	6 631	横 浜 市
△ 4 543	283	128	155	47	38	9	10 548	2 558	川 崎 市
△ 604	131	55	76	21	18	3	3 790	1 468	相 模 原 市
△ 1 658	145	69	76	30	25	5	3 968	1 154	新 潟 市
△ 1 987	140	68	72	16	15	1	3 643	1 268	静 岡 市
△ 433	138	79	59	26	20	6	4 267	1 365	浜 松 市
△ 72	453	196	257	63	52	11	13 870	4 580	名 古 屋 市
△ 2 929	255	112	143	41	32	9	8 035	2 710	京 都 市
△ 4 294	581	254	327	103	86	17	17 358	6 562	大 阪 市
△ 417	153	72	81	29	26	3	4 367	1 814	堺 市
△ 2 397	320	145	175	35	32	3	8 140	3 046	神 戸 市
△ 195	146	48	98	19	16	3	4 029	1 455	岡 山 市
△ 1 847	209	103	106	44	34	10	6 671	2 227	広 島 市
△ 2 176	251	104	147	38	33	5	5 112	2 075	北 九 州 市
△ 3 746	386	159	227	49	41	8	9 974	3 199	福 岡 市
△ 754	132	43	89	16	11	5	3 074	1 061	熊 本 市 ²⁾

第9表 人口動態総覧（率），都道府県（21大都市再掲）別

都道府県 (21大都市)	出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増減率
	(人口千対)		(出生千対)		(人口千対)
全国	8.2	10.0	2.2	1.0	△ 1.7
北海道	7.1	10.7	2.3	1.1	△ 3.6
青森	6.8	12.8	2.6	1.6	△ 6.0
岩手	7.1	12.4	2.9	1.5	△ 5.2
宮城	8.1	9.5	2.2	1.0	△ 1.5
秋田	6.2	14.0	1.7	0.9	△ 7.8
山形	7.2	12.9	2.8	1.9	△ 5.7
福島	7.0	12.0	2.2	0.9	△ 4.9
茨城	7.9	10.3	2.7	1.1	△ 2.4
栃木	8.1	10.6	2.4	1.0	△ 2.4
群馬	7.6	10.8	3.0	1.5	△ 3.2
埼玉	8.0	8.3	2.0	0.9	△ 0.3
千代田	8.0	8.7	2.8	1.3	△ 0.7
東京都	8.3	8.5	2.2	1.1	△ 0.1
神奈川県	8.4	8.0	2.3	1.2	0.4
新潟	7.5	12.0	1.1	0.6	△ 4.5
富山	7.4	11.9	2.2	1.0	△ 4.5
石川	8.3	10.6	2.0	1.4	△ 2.3
福井	8.5	11.1	2.1	1.3	△ 2.6
山梨	7.5	11.4	2.1	0.6	△ 3.8
長野	7.9	11.6	1.9	0.8	△ 3.7
岐阜	8.1	10.6	1.6	0.8	△ 2.5
静岡県	8.4	10.4	1.9	0.9	△ 2.0
愛知県	9.3	8.4	2.1	0.8	0.9
三重	8.1	10.6	3.3	1.0	△ 2.5
滋賀	9.5	8.8	2.2	1.1	0.7
京都	7.8	9.8	1.9	1.1	△ 2.1
大阪府	8.4	9.2	2.1	0.9	△ 0.9
兵庫県	8.4	9.8	1.7	0.4	△ 1.3
奈良	7.7	9.9	2.4	0.7	△ 2.2
和歌山	7.6	12.7	2.0	1.2	△ 5.1
鳥取	8.3	12.2	1.9	1.5	△ 4.0
島根	8.0	13.6	2.0	1.1	△ 5.6
岡山	8.5	11.0	2.3	1.0	△ 2.6
広島	8.8	10.4	2.3	1.0	△ 1.6
山口	7.6	12.8	2.4	0.9	△ 5.2
徳島	7.4	12.7	4.4	1.9	△ 5.2
香川	8.3	11.6	1.8	1.0	△ 3.3
愛媛	7.9	12.2	2.5	1.6	△ 4.3
高松	7.0	13.5	2.5	1.5	△ 6.5
福岡	9.1	9.7	2.1	1.0	△ 0.6
佐賀	8.9	11.5	1.6	0.5	△ 2.7
長門	8.4	12.0	2.3	1.5	△ 3.6
熊本	8.9	11.4	2.4	1.0	△ 2.5
大分	8.2	11.9	2.5	0.9	△ 3.7
宮崎	8.8	11.6	2.7	1.2	△ 2.8
鹿児島	8.8	12.6	1.9	0.9	△ 3.8
沖縄	12.2	7.6	2.7	0.9	4.6
(再掲)					
東京都区部	8.3	8.3	2.2	1.1	0.0
札幌市	7.5	8.4	2.3	0.9	△ 0.9
仙台市	8.9	7.4	1.5	0.2	1.5
さいたま市	8.5	7.6	2.1	0.6	1.0
千葉市	8.0	7.7	3.1	1.7	0.3
横浜市	8.4	7.8	2.6	1.4	0.5
川崎市	9.9	6.8	2.1	1.1	3.2
相模原市	8.0	7.2	1.6	0.7	0.8
新潟市	7.9	9.9	1.6	0.9	△ 2.0
静岡市	7.6	10.4	1.1	0.6	△ 2.8
浜松市	9.0	9.5	2.7	1.5	△ 0.5
名古屋市	8.6	8.7	2.2	0.7	0.0
京都市	7.5	9.5	1.7	1.1	△ 2.0
大阪市	8.5	10.1	2.6	1.0	△ 1.6
堺市	8.6	9.1	1.8	0.7	△ 0.5
神戸市	8.0	9.6	1.5	0.3	△ 1.6
岡山市	9.3	9.0	2.3	0.8	0.3
広島市	9.5	8.0	1.8	1.0	1.6
北九州市	8.4	10.7	2.9	1.0	△ 2.2
福岡市	9.7	7.2	1.4	0.8	2.5
熊本市 ³⁾

注：1) 死産率は死産数を出産数（死産数に出生数を加えたもの）で除している。
 2) 妊娠満22週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出産数（妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの）で除している。
 3) 熊本市は平成24年4月1日から政令指定都市となったため、率は算出してない。

死産率 ¹⁾	自然死産率 (出 産 千 対)	人工死産率 (千 対)	周産期死亡率 ²⁾	婚 姻 率 (人 口 千 対)	離 婚 率 (千 対)	都 道 府 県 (21大都市)
23.4	10.8	12.6	4.0	5.3	1.87	全 国
29.6	11.8	17.7	4.1	4.9	2.13	北 海 道
27.7	12.6	15.1	4.1	4.3	1.79	青 森 県
27.6	15.1	12.5	6.0	4.3	1.52	岩 手 県
25.4	11.6	13.8	3.8	5.3	1.71	宮 城 県
25.3	12.1	13.3	4.1	3.8	1.41	秋 田 県
25.6	10.7	15.0	4.9	4.3	1.47	山 形 県
27.4	15.0	12.4	4.6	4.7	1.64	福 島 県
24.6	11.6	13.0	4.7	5.0	1.81	茨 城 県
23.4	10.4	13.0	4.1	5.2	1.87	栃 木 県
25.3	11.2	14.1	4.8	4.7	1.80	群 馬 県
23.8	11.8	12.0	4.4	5.2	1.89	埼 玉 県
23.0	11.1	11.9	4.4	5.3	1.88	千 葉 県
21.2	10.0	11.2	3.7	6.9	1.96	東 京 都
20.6	10.1	10.5	4.0	5.8	1.88	神 奈 川 県
22.7	10.9	11.8	3.9	4.4	1.38	新 潟 県
24.6	14.1	10.5	4.9	4.5	1.44	富 山 県
19.5	11.4	8.1	3.8	4.9	1.53	石 川 県
24.6	11.6	12.9	4.6	4.6	1.57	福 井 県
22.8	9.4	13.4	3.6	4.7	1.89	山 梨 県
22.4	10.6	11.7	3.7	4.7	1.68	山 長 野 県
21.0	10.4	10.6	4.1	4.7	1.63	岐 阜 県
20.6	10.0	10.5	3.4	5.2	1.87	静 岡 県
20.7	9.8	10.9	3.9	5.9	1.85	愛 知 県
21.2	10.2	11.0	4.2	5.0	1.79	三 重 県
17.5	8.8	8.8	3.8	5.3	1.68	滋 賀 県
22.6	10.1	12.5	3.8	5.1	1.80	京 都 府
23.1	10.4	12.7	4.0	5.5	2.16	大 阪 府
22.4	10.9	11.5	3.3	5.1	1.87	兵 庫 県
24.8	11.4	13.5	3.3	4.5	1.73	奈 良 県
21.0	8.4	12.5	4.0	4.7	1.99	和 歌 山 県
23.5	10.0	13.5	5.2	4.8	1.84	鳥 取 県
24.1	10.0	14.2	3.4	4.4	1.44	島 根 県
21.5	8.4	13.0	3.5	5.0	1.83	山 口 県
20.7	10.2	10.5	4.0	5.2	1.80	広 島 県
23.9	11.2	12.7	3.3	4.6	1.68	山 口 県
24.3	11.0	13.2	4.3	4.4	1.62	徳 島 県
19.8	10.9	8.9	5.0	4.9	1.92	香 川 県
25.5	9.4	16.1	3.7	4.5	1.80	愛 媛 県
28.4	10.7	17.7	4.5	4.3	1.87	高 知 県
26.6	11.5	15.1	4.2	5.5	2.09	福 岡 県
23.0	10.8	12.2	2.4	4.8	1.75	佐 賀 県
27.2	12.1	15.1	4.0	4.5	1.75	長 崎 県
26.5	9.1	17.5	3.1	5.0	1.88	熊 本 県
27.1	9.7	17.4	3.7	4.8	1.86	大 分 県
31.5	11.9	19.6	3.0	5.1	2.16	宮 崎 県
27.5	10.5	17.0	3.4	4.8	1.85	鹿 児 島 県
28.8	13.9	15.0	4.3	6.3	2.59	沖 縄 県
21.7	10.3	11.4	3.8	7.5	2.02	(再 掲) 東 京 都 区 部
29.9	11.9	17.9	4.6	5.6	2.36	札 幌 市
23.6	9.9	13.7	3.3	6.2	1.74	仙 台 市
20.4	8.4	12.0	2.7	5.6	1.75	さい たま 市
24.4	13.9	10.5	4.5	5.1	1.84	千 葉 市
19.7	10.4	9.3	4.4	5.7	1.79	横 浜 市
19.5	8.8	10.7	3.3	7.3	1.78	川 崎 市
22.2	9.3	12.9	3.6	5.3	2.04	相 模 原 市
22.3	10.6	11.7	4.7	4.9	1.42	新 潟 市
25.1	12.2	12.9	2.9	5.1	1.78	静 岡 市
19.0	10.9	8.1	3.6	5.4	1.71	浜 松 市
22.6	9.8	12.8	3.2	6.1	2.02	名 古 屋 市
22.6	9.9	12.6	3.7	5.5	1.84	京 都 市
24.9	10.9	14.0	4.5	6.5	2.45	大 阪 市
20.8	9.8	11.0	4.0	5.2	2.15	堺 市
25.2	11.4	13.8	2.8	5.3	1.98	神 戸 市
21.6	7.1	14.5	2.9	5.7	2.04	岡 山 市
18.2	9.0	9.2	3.9	5.6	1.89	広 島 市
29.7	12.3	17.4	4.6	5.3	2.13	北 九 州 市
26.0	10.7	15.3	3.4	6.7	2.14	福 岡 市
...	熊 本 市 ³⁾

第10表 主な死因の死亡数・死亡率(人口10万対), 都道府県(21大都市再掲)¹⁾

都道府県 (21大都市)	全死因		02100 悪性新生物		09200 心疾患		10200 肺炎		09300 脳血管疾患	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
全国 ¹⁾	1 256 254	997.4	360 790	286.4	198 622	157.7	123 818	98.3	121 505	96.5
北海道	58 068	1 067.0	18 131	333.2	9 453	173.7	5 672	104.2	5 076	93.3
青森	17 295	1 284.0	4 803	356.6	2 840	210.8	1 941	144.1	1 964	145.8
岩手	16 072	1 237.3	4 241	326.5	2 848	219.2	1 483	114.2	2 144	165.1
宮城	22 101	954.7	6 450	278.6	3 339	144.2	1 932	83.5	2 549	110.1
秋田	14 856	1 401.5	4 099	386.7	2 296	216.6	1 485	140.1	1 763	166.3
山形	14 752	1 287.3	4 099	357.7	2 235	195.0	1 462	127.6	1 789	156.1
福島	23 420	1 198.0	6 235	318.9	4 234	216.6	2 177	111.4	2 552	130.5
茨城	30 010	1 032.3	8 299	285.5	4 959	170.6	3 089	106.3	3 224	110.9
栃木	20 783	1 056.0	5 611	285.1	3 545	180.1	1 995	101.4	2 461	125.1
群馬	21 168	1 080.6	5 669	289.4	3 248	165.8	2 436	124.3	2 180	111.3
埼玉	59 140	829.9	17 808	249.9	10 316	144.8	5 970	83.8	5 512	77.4
千葉	53 197	869.4	15 468	252.8	9 540	155.9	5 309	86.8	5 080	83.0
東京都	109 180	845.3	32 901	254.7	16 736	129.6	10 131	78.4	9 887	76.5
神奈川県	71 993	804.7	22 290	249.1	10 464	117.0	6 515	72.8	6 718	75.1
新潟	28 081	1 202.1	7 842	335.7	4 164	178.3	2 614	111.9	3 420	146.4
富山	12 755	1 189.8	3 493	325.8	1 772	165.3	1 351	126.0	1 375	128.3
石川	12 223	1 059.2	3 483	301.8	1 944	168.5	1 243	107.7	1 274	110.4
福井	8 795	1 114.7	2 373	300.8	1 411	178.8	970	122.9	865	109.6
山梨	9 555	1 136.1	2 547	302.9	1 417	168.5	881	104.8	962	114.4
長野	24 476	1 162.2	6 268	297.6	3 715	176.4	2 074	98.5	3 188	151.4
岐阜	21 531	1 061.2	5 799	285.8	3 649	179.8	1 932	95.2	2 020	99.6
静岡県	38 193	1 037.0	10 267	278.8	5 693	154.6	3 188	86.6	4 251	115.4
愛知	61 354	843.1	18 092	248.6	8 649	118.9	5 509	75.7	5 582	76.7
三重	19 209	1 060.7	5 122	282.8	2 760	152.4	1 824	100.7	1 919	106.0
滋賀	12 222	875.5	3 354	240.3	2 227	159.5	1 148	82.2	1 130	80.9
京都	25 411	983.4	7 566	292.8	4 314	167.0	2 479	95.9	2 185	84.6
大阪府	80 368	924.1	25 258	290.4	13 067	150.2	8 565	98.5	6 181	71.1
兵庫県	53 656	976.3	16 030	291.7	8 217	149.5	5 081	92.4	4 722	85.9
奈良	13 657	988.9	4 018	290.9	2 494	180.6	1 352	97.9	1 161	84.1
和歌山	12 435	1 265.0	3 391	345.0	2 204	224.2	1 319	134.2	1 024	104.2
鳥取	7 074	1 223.9	1 913	331.0	1 132	195.8	575	99.5	812	140.5
島根	9 513	1 355.1	2 538	361.5	1 460	208.0	887	126.4	972	138.5
岡山	21 180	1 103.7	5 611	292.4	3 319	173.0	2 488	129.7	2 055	107.1
広島	29 273	1 039.2	8 165	289.8	4 924	174.8	2 947	104.6	2 624	93.1
山口	18 230	1 283.8	4 917	346.3	3 005	211.6	2 213	155.8	1 779	125.3
徳島	9 782	1 267.1	2 503	324.2	1 439	186.4	1 119	144.9	871	112.8
香川	11 368	1 157.6	2 983	303.8	2 048	208.6	935	95.2	932	94.9
愛媛	17 216	1 222.7	4 592	326.1	3 206	227.7	1 742	123.7	1 611	114.4
高知	10 142	1 354.1	2 581	344.6	1 865	249.0	1 179	157.4	1 051	140.3
福岡	48 955	970.6	15 146	300.3	5 770	114.4	5 117	101.4	4 177	82.8
佐賀	9 676	1 151.9	2 781	331.1	1 483	176.5	1 123	133.7	871	103.7
長崎	16 785	1 197.2	4 724	336.9	2 569	183.2	1 856	132.4	1 524	108.7
熊本	20 565	1 143.1	5 471	304.1	3 268	181.7	2 119	117.8	1 903	105.8
大分	14 050	1 192.7	3 753	318.6	2 176	184.7	1 448	122.9	1 406	119.4
宮崎	13 052	1 163.3	3 483	310.4	2 200	196.1	1 464	130.5	1 420	126.6
鹿児島	21 282	1 263.8	5 518	327.7	3 260	193.6	2 466	146.4	2 398	142.4
沖縄	10 626	758.5	2 913	207.9	1 564	111.6	917	65.5	833	59.5
外国 (再掲)	168	.	39	.	22	.	8	.	6	.
東京都区部	74 644	829.7	22 597	251.2	11 454	127.3	6 638	73.8	6 641	73.8
札幌市	16 228	841.3	5 299	274.7	2 360	122.3	1 578	81.8	1 345	69.7
仙台市	7 843	739.2	2 431	229.1	1 091	102.8	598	56.4	841	79.3
さいたま市	9 361	758.0	2 729	221.0	1 611	130.4	894	72.4	858	69.5
千葉市	7 400	767.6	2 228	231.1	1 252	129.9	728	75.5	700	72.6
横浜市	28 930	782.5	9 068	245.3	4 110	111.2	2 603	70.4	2 608	70.5
川崎市	9 714	675.1	3 001	208.5	1 384	96.2	844	58.7	929	64.6
相模原市	5 165	717.4	1 640	227.8	864	120.0	493	68.5	502	69.7
新潟市	8 027	989.8	2 426	299.1	1 193	147.1	809	99.8	895	110.4
静岡市	7 415	1 041.4	2 023	284.1	1 208	169.7	552	77.5	786	110.4
浜松市	7 570	949.8	1 937	243.0	1 033	129.6	604	75.8	896	112.4
名古屋市	19 681	868.2	5 919	261.1	2 979	131.4	1 747	77.1	1 640	72.3
京都市	13 979	949.0	4 210	285.8	2 355	159.9	1 359	92.3	1 169	79.4
大阪市	27 057	1 010.7	8 247	308.1	3 823	142.8	2 993	111.8	2 146	80.2
堺市	7 626	905.7	2 467	293.0	1 285	152.6	827	98.2	630	74.8
神戸市	14 754	956.8	4 585	297.3	2 124	137.7	1 335	86.6	1 254	81.3
岡山市	6 414	899.6	1 771	248.4	1 013	142.1	620	87.0	594	83.3
広島市	9 415	797.2	2 799	237.0	1 481	125.4	876	74.2	795	67.3
北九州市	10 389	1 068.8	3 293	338.8	1 223	125.8	1 047	107.7	909	93.5
福岡市	10 707	717.6	3 478	233.1	1 167	78.2	1 064	71.3	747	50.1
熊本市 ²⁾	4 662	...	1 386	...	734	...	410	...	396	...

注: 1) 全国値には、住所地不詳を含む。

2) 熊本市は平成24年4月1日から政令指定都市となったため、4月分からの累計である。なお、死亡率は算出していない。

18100 老 衰		20100 不慮の事故		20200 自 殺		14200 腎 不 全		10400 慢性閉塞性肺疾患		11300 肝 疾 患		都 道 府 県 (21大都市)
死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	
60 669	48.2	40 857	32.4	26 400	21.0	25 061	19.9	16 371	13.0	15 944	12.7	全 国 ¹⁾
1 910	35.1	1 630	30.0	1 205	22.1	1 497	27.5	687	12.6	687	12.6	北 海 道
795	59.0	513	38.1	326	24.2	456	33.9	186	13.8	213	15.8	青 森 市
809	62.3	592	45.6	329	25.3	339	26.1	201	15.5	162	12.5	岩 手 市
1 294	55.9	644	27.8	437	18.9	413	17.8	238	10.3	231	10.0	宮 城 市
737	69.5	536	50.6	293	27.6	303	28.6	119	11.2	157	14.8	秋 田 市
866	75.6	499	43.5	289	25.2	304	26.5	200	17.5	137	12.0	山 形 市
1 218	62.3	830	42.5	428	21.9	492	25.2	308	15.8	265	13.6	福 島 市
1 588	54.6	955	32.9	613	21.1	589	20.3	399	13.7	363	12.5	茨 城 市
1 171	59.5	562	28.6	449	22.8	395	20.1	278	14.1	288	14.6	栃 木 市
936	47.8	690	35.2	459	23.4	372	19.0	344	17.6	259	13.2	群 馬 市
2 194	30.8	1 514	21.2	1 526	21.4	1 142	16.0	677	9.5	743	10.4	埼 玉 市
2 495	40.8	1 623	26.5	1 214	19.8	914	14.9	630	10.3	652	10.7	千 葉 市
5 017	38.8	2 756	21.3	2 567	19.9	1 816	14.1	1 432	11.1	1 806	14.0	東 京 市
3 801	42.5	2 669	29.8	1 658	18.5	1 100	12.3	929	10.4	1 196	13.4	神 奈 川 市
1 680	71.9	1 076	46.1	616	26.4	479	20.5	335	14.3	272	11.6	新 潟 市
678	63.2	557	52.0	238	22.2	249	23.2	144	13.4	148	13.8	富 山 市
637	55.2	428	37.1	240	20.8	220	19.1	166	14.4	123	10.7	石 川 市
409	51.8	383	48.5	159	20.2	196	24.8	96	12.2	100	12.7	福 井 市
688	81.8	380	45.2	185	22.0	155	18.4	145	17.2	120	14.3	山 梨 市
1 610	76.4	853	40.5	446	21.2	390	18.5	359	17.0	216	10.3	山 長 野 市
1 358	66.9	873	43.0	424	20.9	446	22.0	260	12.8	202	10.0	岐 阜 市
2 827	76.8	1 317	35.8	751	20.4	801	21.7	470	12.8	403	10.9	静 岡 市
3 243	44.6	2 007	27.6	1 332	18.3	1 122	15.4	641	8.8	684	9.4	愛 知 市
1 404	77.5	750	41.4	368	20.3	398	22.0	252	13.9	188	10.4	三 重 市
532	38.1	470	33.7	282	20.2	236	16.9	183	13.1	124	8.9	滋 賀 市
1 154	44.7	598	23.1	448	17.3	571	22.1	368	14.2	274	10.6	京 都 市
2 503	28.8	2 299	26.4	1 870	21.5	1 846	21.2	1 044	12.0	1 386	15.9	大 阪 市
2 603	47.4	1 933	35.2	1 135	20.7	1 065	19.4	781	14.2	735	13.4	兵 庫 市
562	40.7	408	29.5	245	17.7	265	19.2	181	13.1	172	12.5	奈 良 市
739	75.2	400	40.7	179	18.2	283	28.8	211	21.5	142	14.4	和 歌 山 市
481	83.2	221	38.2	120	20.8	148	25.6	89	15.4	94	16.3	鳥 取 市
670	95.4	326	46.4	160	22.8	172	24.5	137	19.5	96	13.7	島 根 市
1 105	57.6	745	38.8	359	18.7	464	24.2	249	13.0	230	12.0	岡 山 市
1 553	55.1	1 032	36.6	579	20.6	647	23.0	377	13.4	370	13.1	広 島 市
897	63.2	484	34.1	331	23.3	398	28.0	232	16.3	225	15.8	山 口 市
498	64.5	377	48.8	147	19.0	210	27.2	159	20.6	111	14.4	徳 島 市
602	61.3	442	45.0	171	17.4	237	24.1	163	16.6	127	12.9	香 川 市
930	66.1	645	45.8	290	20.6	381	27.1	206	14.6	193	13.7	愛 媛 市
340	45.4	426	56.9	194	25.9	255	34.0	133	17.8	126	16.8	高 知 市
1 563	31.0	1 799	35.7	1 117	22.1	971	19.3	649	12.9	578	11.5	福 岡 市
400	47.6	336	40.0	176	21.0	172	20.5	139	16.5	96	11.4	佐 賀 市
733	52.3	609	43.4	248	17.7	387	27.6	258	18.4	166	11.8	長 崎 市
963	53.5	677	37.6	428	23.8	457	25.4	289	16.1	236	13.1	熊 本 市
704	59.8	441	37.4	261	22.2	312	26.5	249	21.1	162	13.8	大 分 市
496	44.2	460	41.0	275	24.5	271	24.2	199	17.7	160	14.3	宮 崎 市
882	52.4	728	43.2	364	21.6	509	30.2	345	20.5	233	13.8	鹿 児 島 市
388	27.7	269	19.2	284	20.3	200	14.3	223	15.9	262	18.7	沖 縄 県
1	.	2	.	16	.	1	.	1	.	1	.	外 国 (再 掲)
3 293	36.6	2 026	22.5	1 748	19.4	1 224	13.6	1 034	11.5	1 354	15.1	東 京 都 区 部
391	20.3	367	19.0	402	20.8	386	20.0	191	9.9	223	11.6	札 幌 市
409	38.5	211	19.9	186	17.5	136	12.8	85	8.0	92	8.7	仙 台 市
383	31.0	265	21.5	255	20.6	168	13.6	99	8.0	137	11.1	さい たま 市
272	28.2	219	22.7	175	18.2	142	14.7	71	7.4	90	9.3	千 葉 市
1 595	43.1	1 103	29.8	621	16.8	434	11.7	369	10.0	514	13.9	横 浜 市
419	29.1	362	25.2	264	18.3	154	10.7	123	8.5	207	14.4	川 崎 市
212	29.4	142	19.7	149	20.7	71	9.9	75	10.4	101	14.0	相 模 原 市
388	47.8	270	33.3	180	22.2	144	17.8	75	9.2	75	9.2	新 潟 市
506	71.1	245	34.4	149	20.9	133	18.7	104	14.6	78	11.0	静 岡 市
674	84.6	237	29.7	134	16.8	180	22.6	79	9.9	68	8.5	浜 松 市
830	36.6	607	26.8	407	18.0	357	15.7	188	8.3	214	9.4	名 古 屋 市
634	43.0	287	19.5	259	17.6	299	20.3	177	12.0	149	10.1	京 都 市
802	30.0	876	32.7	669	25.0	677	25.3	379	14.2	549	20.5	大 阪 市
197	23.4	198	23.5	169	20.1	172	20.4	104	12.4	126	15.0	堺 市
677	43.9	550	35.7	312	20.2	242	15.7	213	13.8	216	14.0	神 戸 市
312	43.8	222	31.1	129	18.1	162	22.7	68	9.5	71	10.0	岡 山 市
483	40.9	306	25.9	217	18.4	190	16.1	114	9.7	135	11.4	広 島 市
271	27.9	399	41.0	205	21.1	238	24.5	124	12.8	141	14.5	北 九 州 市
330	22.1	389	26.1	326	21.8	165	11.1	123	8.2	146	9.8	福 岡 市
217	...	129	...	101	...	97	...	45	...	54	...	熊 本 市 ²⁾

合計特殊出生率について

1. 期間合計特殊出生率とコーホート合計特殊出生率

○ 合計特殊出生率は「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」で、次の2つの種類があり、一人の女性がその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

A 「期間」合計特殊出生率

ある期間（1年間）の出生状況に着目したもので、その年における各年齢（15～49歳）の女性の出生率を合計したもの。

女性人口の年齢構成の違いを除いた「その年の出生率」であり、年次比較、国際比較、地域比較に用いられている。

B 「コーホート」合計特殊出生率

ある世代の出生状況に着目したもので、同一世代生まれ（コーホート）の女性の各年齢（15～49歳）の出生率を過去から積み上げたもの。

「その世代の出生率」である。

○ 実際に「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」はBのコーホート合計特殊出生率であるが、この値はその世代が50歳に到達するまで得られないため、それに相当するものとしてAの期間合計特殊出生率が一般に用いられている。

なお、各年齢別の出生率が世代（コーホート）によらず同じであれば、この二つの「合計特殊出生率」は同じ値になる。

○ ただし、晩婚化・晩産化が進行している状況等、各世代の結婚や出産の行動に違いがあり、各年齢の出生率が世代により異なる場合には、別々の世代の年齢別出生率の合計であるAの期間合計特殊出生率は、同一世代の年齢別出生率の合計であるBのコーホート合計特殊出生率の値と異なることに注意が必要である。

2. 平成24年における状況

コーホート合計特殊出生率は同一世代の女性の出生率を過去から積み上げるため、その世代が50歳になるまで得られないが、現段階で得られる到達年齢までのコーホート合計特殊出生率を、5歳階級ごとに1つの世代とみて、5年ごとの出生率を合計し、算出した*）。

例えば1973～1977年生まれ（平成24年における35～39歳の世代）についての39歳までのコーホート合計特殊出生率は約1.39であるが、40歳以降も出産するので、実際にこの世代の「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」は、1.39に今後の40歳以上での出生率を加えた値となり、晩産化の進行により40歳以上の出生率（平成24年0.0460）が上昇傾向であることから、少なくとも平成24年の期間合計特殊出生率（1.41）を上回ると見込まれる。

*）各年の各年齢別出生率を合計したより精密なコーホート合計特殊出生率は国立社会保障・人口問題研究所で算出されている。

① 期間合計特殊出生率の年次推移(年齢階級別内訳)

	昭和57年 (1982)	62年 (1987)	平成4年 (1992)	9年 (1997)	14年 (2002)	19年 (2007)	平成24年 (2012)
母の年齢	1.77	1.69	1.50	1.39	1.32	1.34	1.41
15～19歳	0.0207	0.0194	0.0187	0.0206	0.0298	0.0246	0.0219
20～24	0.3580	0.2798	0.2240	0.1933	0.1979	0.1831	0.1607
25～29	0.9230	0.8289	0.6585	0.5448	0.4648	0.4341	0.4326
30～34	0.3886	0.4597	0.4704	0.4700	0.4410	0.4614	0.4915
35～39	0.0709	0.0933	0.1174	0.1424	0.1633	0.2025	0.2525
40～44	0.0085	0.0093	0.0125	0.0165	0.0213	0.0305	0.0448
45～49	0.0003	0.0002	0.0003	0.0004	0.0005	0.0008	0.0012

② 各世代別(コーホート)にみた母の年齢階級別出生率(ごく粗い計算)

	1963-1967	1968-1972	1973-1977	1978-1982	1983-1987	1988-1992	1993-1997
母の年齢	45～49歳 の世代	40～44歳 の世代	35～39歳 の世代	30～34歳 の世代	25～29歳 の世代	20～24歳 の世代	15～19歳 の世代
15～19歳	0.0207	0.0194	0.0187	0.0206	0.0298	0.0246	0.0219
20～24	0.2798	0.2240	0.1933	0.1979	0.1831	0.1607	
25～29	0.6585	0.5448	0.4648	0.4341	0.4326		
30～34	0.4700	0.4410	0.4614	0.4915			
35～39	0.1633	0.2025	0.2525				
40～44	0.0305	0.0448					
45～49	0.0012						
コーホート 合計特殊出生率	1.62	1.48	1.39	1.14	0.65	0.19	0.02

③ コーホート合計特殊出生率(母の到達年齢別)(ごく粗い計算)

	1963-1967	1968-1972	1973-1977	1978-1982	1983-1987	1988-1992	1993-1997
母の年齢	45～49歳 の世代	40～44歳 の世代	35～39歳 の世代	30～34歳 の世代	25～29歳 の世代	20～24歳 の世代	15～19歳 の世代
15～19歳	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02	0.02
15～24	0.30	0.24	0.21	0.22	0.21	0.19	
15～29	0.96	0.79	0.68	0.65	0.65		
15～34	1.43	1.23	1.14	1.14			
15～39	1.59	1.43	1.39				
15～44	1.62	1.48					
15～49	1.62						

*「15～19歳の世代」は、平成5～9年生まれ、「20～24歳の世代」は、昭和63年～平成4年生まれ、
「25～29歳の世代」は、昭和58～62年生まれ、「30～34歳の世代」は、昭和53～57年生まれ、
「35～39歳の世代」は、昭和48～52年生まれ、「40～44歳の世代」は、昭和43～47年生まれ、
「45～49歳の世代」は、昭和38～42年生まれ。

3. 出生数の動向と(期間)合計特殊出生率の動向の関係

○ 出生数は、次の式のように「女性人口（15～49歳）」と「(期間)合計特殊出生率」、
「(15～49歳女性人口の)年齢構成の違い」の3つの要素に分解できる。以下、この3要素を
「女性人口」、「合計特殊出生率」、「年齢構成の違い」とする。

$$\text{出生数} = \text{女性人口 (15～49歳)} \times \frac{\text{(期間)合計特殊出生率}}{35^{1)}} \times \text{(15～49歳女性人口の)年齢構成の違い}^{2)}$$

出生数がこのように3要素に分解できることから、出生数の動向は、「合計特殊出生率」の動向だけでなく、「女性人口」と「年齢構成の違い」の動向の影響を受ける。

平成23年	105.1万人	=	2,634万人	×	$\frac{1.39}{35}$	×	1.002
	↓ △1.3%		↓ △0.8%		↓ 0.8%		↓ △1.4%
平成24年	103.7万人	=	2,613万人	×	$\frac{1.41}{35}$	×	0.988

※平成23年の合計特殊出生率を用いると、平成24年の出生数は前年より△2.1%であったと見込まれる。

平成23年から平成24年の動向をみると、「女性人口」が減少し、「年齢構成の違い」も低下したため、「合計特殊出生率」が上昇したものの、出生数が減少したことが分かる。

同様に、昭和45年以降の3要素の動向をみると次頁の通りであるが、

- (1) 「女性人口」は平成9年から減少傾向にある。
- (2) 「合計特殊出生率」は、平成17年まで低下傾向で推移したが、平成18年に上昇傾向に転じた。
- (3) 「年齢構成の違い」は、昭和51年、平成3年、16年を境に増減を繰り返し、16年以降は低下傾向にある。

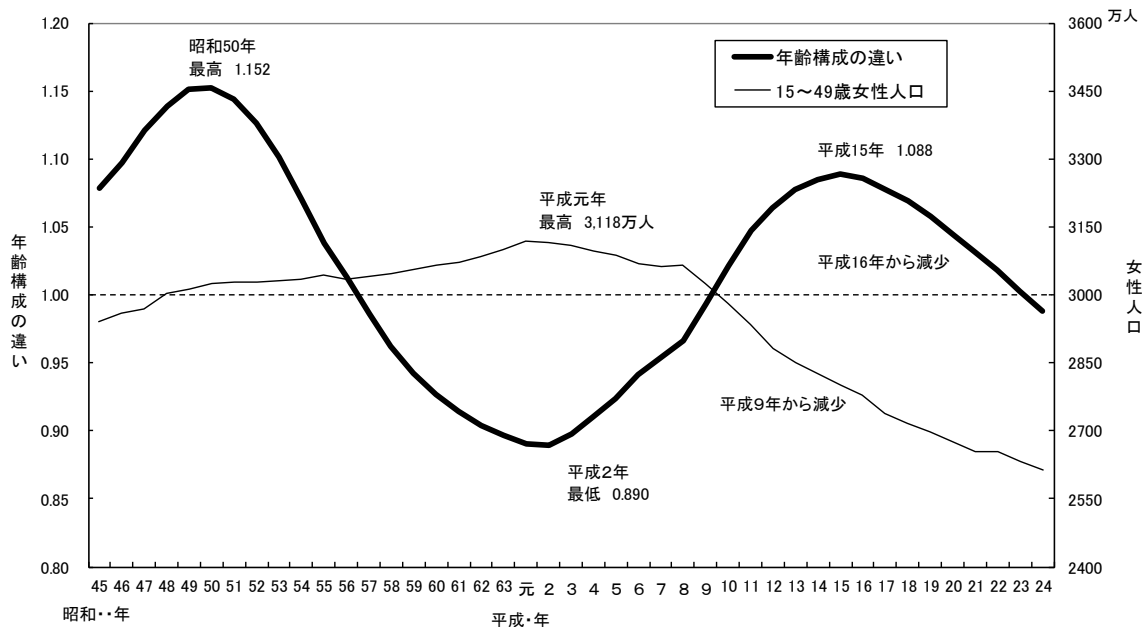
「女性人口」の減少傾向と「年齢構成の違い」の低下傾向は今後も続くことから、「合計特殊出生率」が変わらなければ、出生数は今後も減少することになる。

注：1) (期間)合計特殊出生率は15～49までの35個の年齢別出生率を加えたものであるため、女性人口（15～49歳）を乗じて出生数となるように35で除している。

2) 「年齢構成の違い」は、「女性人口」×「合計特殊出生率」／35が「15～49歳のどの年齢の女性の人数も同じとした場合に当該合計特殊出生率で見込まれる出生数」となることから、「実際の年齢構成がどの年齢の女性の人数も同じという年齢構成とどのくらい違うか表すもの」である。

「年齢構成の違い」は、出生率の高い年齢の女性の人数が出生率の低い年齢の女性の人数より多い場合には1より大きく、少ない場合には1より小さくなる。

「女性人口(15～49歳)」と「年齢構成の違い」の動向



年次	実 数				対前年増減率 (%)			
	出 生 数 ①×②/35×③	15～49歳 女性人口 (千人) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の 違 い ③	出 生 数	15～49歳 女性人口 (千人) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の 違 い ③
昭和 45 年	1 934 239	29 400	2.13	1.079
46	2 000 973	29 589	2.16	1.097	3.5	0.6	1.1	1.7
47	2 038 682	29 700	2.14	1.122	1.9	0.4	△ 0.7	2.2
48	2 091 983	30 035	2.14	1.139	2.6	1.1	△ 0.1	1.6
49	2 029 989	30 128	2.05	1.151	△ 3.0	0.3	△ 4.3	1.1
50	1 901 440	30 251	1.91	1.152	△ 6.3	0.4	△ 6.8	0.1
51	1 832 617	30 271	1.85	1.144	△ 3.6	0.1	△ 3.0	△ 0.7
52	1 755 100	30 289	1.80	1.126	△ 4.2	0.1	△ 2.8	△ 1.6
53	1 708 643	30 319	1.79	1.101	△ 2.6	0.1	△ 0.5	△ 2.2
54	1 642 580	30 351	1.77	1.071	△ 3.9	0.1	△ 1.2	△ 2.8
55	1 576 889	30 438	1.75	1.038	△ 4.0	0.3	△ 1.3	△ 3.0
56	1 529 455	30 333	1.74	1.013	△ 3.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 2.4
57	1 515 392	30 404	1.77	0.986	△ 0.9	0.2	1.6	△ 2.7
58	1 508 687	30 463	1.80	0.963	△ 0.4	0.2	1.7	△ 2.3
59	1 489 780	30 549	1.81	0.942	△ 1.3	0.3	0.6	△ 2.1
60	1 431 577	30 644	1.76	0.927	△ 3.9	0.3	△ 2.6	△ 1.6
61	1 382 946	30 726	1.72	0.914	△ 3.4	0.3	△ 2.3	△ 1.4
62	1 346 658	30 834	1.69	0.904	△ 2.6	0.4	△ 1.9	△ 1.1
63	1 314 006	30 983	1.66	0.896	△ 2.4	0.5	△ 2.0	△ 0.9
平成 元 年	1 246 802	31 177	1.57	0.890	△ 5.1	0.6	△ 5.1	△ 0.6
2	1 221 585	31 154	1.54	0.890	△ 2.0	△ 0.1	△ 1.9	△ 0.1
3	1 223 245	31 094	1.53	0.897	0.1	△ 0.2	△ 0.5	0.9
4	1 208 989	30 974	1.50	0.910	△ 1.2	△ 0.4	△ 2.1	1.4
5	1 188 282	30 865	1.46	0.924	△ 1.7	△ 0.4	△ 2.9	1.6
6	1 238 328	30 681	1.50	0.942	4.2	△ 0.6	2.9	1.9
7	1 187 064	30 614	1.42	0.954	△ 4.1	△ 0.2	△ 5.2	1.3
8	1 206 555	30 651	1.43	0.967	1.6	0.1	0.2	1.3
9	1 191 665	30 249	1.39	0.993	△ 1.2	△ 1.3	△ 2.6	2.8
10	1 203 147	29 809	1.38	1.021	1.0	△ 1.5	△ 0.3	2.8
11	1 177 669	29 330	1.34	1.047	△ 2.1	△ 1.6	△ 3.0	2.6
12	1 190 547	28 821	1.36	1.064	1.1	△ 1.7	1.3	1.6
13	1 170 662	28 513	1.33	1.077	△ 1.7	△ 1.1	△ 1.9	1.3
14	1 153 855	28 240	1.32	1.085	△ 1.4	△ 1.0	△ 1.1	0.7
15	1 123 610	27 998	1.29	1.088	△ 2.6	△ 0.9	△ 2.1	0.4
16	1 110 721	27 773	1.29	1.086	△ 1.1	△ 0.8	△ 0.1	△ 0.2
17	1 062 530	27 385	1.26	1.078	△ 4.3	△ 1.4	△ 2.2	△ 0.8
18	1 092 674	27 165	1.32	1.069	2.8	△ 0.8	4.5	△ 0.8
19	1 089 818	26 982	1.34	1.057	△ 0.3	△ 0.7	1.5	△ 1.1
20	1 091 156	26 757	1.37	1.044	0.1	△ 0.8	2.2	△ 1.2
21	1 070 035	26 531	1.37	1.032	△ 1.9	△ 0.8	0.1	△ 1.2
22	1 071 304	26 535	1.39	1.019	0.1	0.0	1.4	△ 1.3
23	1 050 806	26 337	1.39	1.002	△ 1.9	△ 0.7	0.4	△ 1.6
24	1 037 101	26 135	1.41	0.988	△ 1.3	△ 0.8	0.8	△ 1.4

注：1) 「合計特殊出生率」の転換年は昭和49年
 2) 「年齢構成の違い」の転換年は昭和51年、平成3年、平成16年
 3) 「15～49歳女性人口」の転換年は平成9年

人口動態総覧（率）の国際比較

国名	出生率 (人口千対)		死亡率 (人口千対)		乳児死亡率 (出生千対)		婚姻率 (人口千対)		離婚率 (人口千対)		合計特殊 出生率	
	'	*	'	*	'	*	'	*	'	*		
日本	'2012)	*8.2	'12)	*10.0	'12)	*2.2	'12)	*5.3	'12)	*1.87	'12)	*1.41
韓国	'12)	*9.6	'12)	*5.3	…		'12)	6.5	'12)	2.3	'12)	*1.30
シンガポール	'12)	10.1	'12)	4.5	'12)	1.8	'11)	6.7	'11)	2.0	'12)	1.29
アメリカ	'11)	12.7	'11)	8.1	'11)	6.1	'11)	6.8	'11)	3.6	'11)	1.89
フランス	'11)	*12.6	'11)	*8.6	'10)	3.5	'11)	*3.7	'09)	2.04	'11)	2.01
ドイツ	'11)	*8.1	'11)	*10.4	'11)	*3.5	'11)	*4.6	'10)	2.29	'11)	1.36
イタリア	'11)	*9.1	'11)	*9.7	'10)	3.4	'10)	3.6	'09)	0.90	'11)	1.40
スウェーデン	'11)	11.8	'11)	9.5	'11)	2.1	'11)	5.1	'11)	2.48	'11)	1.90
イギリス	'10)	*13.0	'10)	*9.0	'10)	4.3	'09)	4.3	'09)	2.05	'11)	1.96

注：*印は暫定値である。

資料：(1) 日本は、人口動態統計月報年計（概数）の概況

(2) 韓国は、韓国統計庁資料

(3) シンガポールは、シンガポール統計局資料

(4) アメリカは、NCHS, National Vital Statistics Reports

(5) ヨーロッパの各国の出生率から離婚率まで、UN「Demographic Yearbook 2007-2011」、
合計特殊出生率は、Eurostat「Population and Social Conditions」

分母に用いた人口

① 年齢5歳階級・男女別（日本人人口）

年齢階級	総数	男	女
	人	人	人
総数	125 957 000	61 328 000	64 630 000
0～4歳	5 224 000	2 675 000	2 549 000
5～9	5 364 000	2 746 000	2 618 000
10～14	5 823 000	2 983 000	2 840 000
15～19	5 981 000	3 068 000	2 913 000
20～24	6 077 000	3 117 000	2 960 000
25～29	6 849 000	3 495 000	3 354 000
30～34	7 644 000	3 889 000	3 756 000
35～39	9 268 000	4 712 000	4 556 000
40～44	9 318 000	4 727 000	4 591 000
45～49	8 082 000	4 077 000	4 005 000
50～54	7 587 000	3 802 000	3 785 000
55～59	7 882 000	3 917 000	3 966 000
60～64	10 188 000	4 997 000	5 191 000
65～69	8 161 000	3 914 000	4 247 000
70～74	7 364 000	3 426 000	3 938 000
75～79	6 231 000	2 730 000	3 501 000
80～84	4 618 000	1 822 000	2 796 000
85～89	2 773 000	899 000	1 873 000
90～94	1 143 000	265 000	878 000
95～99	330 000	60 000	270 000
100～	51 000	7 000	44 000

資料：人口推計「平成24年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

ただし、「85～89」、「90～94」、「95～99」及び「100～」については、総務省統計局の資料に基づき、厚生労働省大臣官房統計情報部 人口動態・保健社会統計課で推計。

② 都道府県・男女別人口（日本人人口）

都道府県	総 数	男	女
	人	人	人
全 国	125 957 000	61 328 000	64 630 000
北海道	5 442 000	2 569 000	2 873 000
青森	1 347 000	633 000	714 000
岩手	1 299 000	622 000	678 000
宮城	2 315 000	1 127 000	1 188 000
秋田	1 060 000	498 000	562 000
山形	1 146 000	551 000	595 000
福島	1 955 000	952 000	1 003 000
茨城	2 907 000	1 450 000	1 457 000
栃木	1 968 000	979 000	989 000
群馬	1 959 000	965 000	994 000
埼玉	7 126 000	3 574 000	3 552 000
千葉	6 119 000	3 052 000	3 067 000
東京都	12 916 000	6 391 000	6 525 000
神奈川県	8 947 000	4 488 000	4 458 000
新潟	2 336 000	1 131 000	1 205 000
富山	1 072 000	518 000	554 000
石川	1 154 000	558 000	596 000
福井	789 000	382 000	407 000
山梨	841 000	412 000	429 000
長野	2 106 000	1 026 000	1 081 000
岐阜	2 029 000	984 000	1 045 000
静岡県	3 683 000	1 814 000	1 869 000
愛知	7 277 000	3 641 000	3 636 000
三重	1 811 000	882 000	929 000
滋賀	1 396 000	689 000	707 000
京都	2 584 000	1 240 000	1 344 000
大阪	8 697 000	4 200 000	4 496 000
兵庫	5 496 000	2 628 000	2 868 000
奈良	1 381 000	653 000	728 000
和歌山	983 000	463 000	521 000
鳥取	578 000	276 000	302 000
島根	702 000	337 000	366 000
岡山	1 919 000	921 000	998 000
広島	2 817 000	1 360 000	1 457 000
山口	1 420 000	670 000	750 000
徳島	772 000	367 000	405 000
香川	982 000	474 000	509 000
愛媛	1 408 000	662 000	745 000
高知	749 000	351 000	397 000
福岡	5 044 000	2 380 000	2 664 000
佐賀	840 000	396 000	444 000
長崎	1 402 000	655 000	747 000
熊本	1 799 000	846 000	953 000
大分	1 178 000	557 000	621 000
宮崎	1 122 000	527 000	595 000
鹿児島	1 684 000	788 000	896 000
沖縄	1 401 000	687 000	714 000

資料：人口推計「平成24年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

2 1 大都市・男女別人口（総人口）

2 1 大都市 (再掲)	総 数	男	女
東京都区部	8 996 000	4 430 000	4 566 000
札幌市	1 929 000	901 000	1 028 000
仙台市	1 061 000	516 000	545 000
さいたま市	1 235 000	617 000	619 000
千葉市	964 000	480 000	483 000
横浜市	3 697 000	1 848 000	1 849 000
川崎市	1 439 000	733 000	706 000
相模原市	720 000	361 000	358 000
新潟市	811 000	390 000	421 000
静岡市	712 000	347 000	366 000
浜松市	797 000	395 000	402 000
名古屋市	2 267 000	1 116 000	1 151 000
京都市	1 473 000	700 000	773 000
大阪市	2 677 000	1 299 000	1 378 000
堺市	842 000	404 000	438 000
神戸市	1 542 000	728 000	814 000
岡山市	713 000	342 000	370 000
広島市	1 181 000	569 000	613 000
北九州市	972 000	457 000	515 000
福岡市	1 492 000	705 000	787 000
熊本市	738 000	346 000	392 000

資料：各指定都市及び東京都が推計した平成24年10月1日現在の総人口である。

(付表)

年齢調整死亡率の算出に用いた人口
基準人口（昭和60年モデル人口）

年齢階級	基準人口	年齢階級	基準人口
	人		人
0～4歳	8 180 000	50～54歳	7 616 000
5～9	8 338 000	55～59	6 581 000
10～14	8 497 000	60～64	5 546 000
15～19	8 655 000	65～69	4 511 000
20～24	8 814 000	70～74	3 476 000
25～29	8 972 000	75～79	2 441 000
30～34	9 130 000	80～84	1 406 000
35～39	9 289 000	85歳以上	784 000
40～44	9 400 000		
45～49	8 651 000	総 数	120 287 000

③ 年齢5歳階級別人口（日本人人口）の対前年比較

年齢階級	平成24年	平成23年	対前年増減
	人	人	人
総数	125 957 000	126 180 000	△ 223 000
0～4歳	5 224 000	5 255 000	△ 31 000
5～9	5 364 000	5 446 000	△ 82 000
10～14	5 823 000	5 865 000	△ 42 000
15～19	5 981 000	6 009 000	△ 28 000
20～24	6 077 000	6 169 000	△ 92 000
25～29	6 849 000	7 004 000	△ 155 000
30～34	7 644 000	7 897 000	△ 253 000
35～39	9 268 000	9 545 000	△ 277 000
40～44	9 318 000	9 155 000	163 000
45～49	8 082 000	7 837 000	245 000
50～54	7 587 000	7 546 000	41 000
55～59	7 882 000	8 247 000	△ 365 000
60～64	10 188 000	10 573 000	△ 385 000
65～69	8 161 000	7 819 000	342 000
70～74	7 364 000	7 151 000	213 000
75～79	6 231 000	6 122 000	109 000
80～84	4 618 000	4 481 000	137 000
85～89	2 773 000	2 617 000	156 000
90～94	1 143 000	1 079 000	64 000
95～99	330 000	316 000	14 000
100～	51 000	47 000	4 000

資料：人口推計「各年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

ただし、「85～89」、「90～94」、「95～99」及び「100～」については、総務省統計局の資料に基づき、厚生労働省大臣官房統計情報部 人口動態・保健社会統計課で推計。

④ 年齢5歳階級別人口（日本人女性人口）の対前年比較

年齢階級	平成24年	平成23年	対前年増減
	人	人	人
15～19歳	2 913 000	2 923 000	△ 10 000
20～24	2 960 000	3 008 000	△ 48 000
25～29	3 354 000	3 435 000	△ 81 000
30～34	3 756 000	3 879 000	△ 123 000
35～39	4 556 000	4 691 000	△ 135 000
40～44	4 591 000	4 515 000	76 000
45～49	4 005 000	3 887 000	118 000
計	26 135 000	26 338 000	△ 203 000

資料：人口推計「各年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

○本冊子は、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。

○リサイクル適正の表示：紙へリサイクル可

本冊子は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料〔Aランク〕のみを用いて作製しています。